

令和2年度県民満足度調査
調査結果報告書
(人生の最終段階における医療等編)

令和2(2020)年8月
岡山県

目 次

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法等	1
3 集計・分析方法	2
4 報告書の見方	2

第 II 部 調査結果

1 あなたご自身について

問 1 (1) 性別及び年齢階層	3
問 1 (2) 世帯構成	3
問 1 (3) 同居の子どもの有無	3
問 1 (4) 子どもの成長段階	3
問 1 (5) 居住地域 (県民局)	4
問 1 (6) 居住地域 (医療圏域)	4
問 1 (7) 県内での通算居住年数	4
問 1 (8) 職業	5

2 人生の最終段階における医療等について

問 20 介護を受けたい場所	6
問 21 死が近い場合の医療について考えた経験	9
問 22 死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い	11
問 22-1 死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由	14
問 23 リビングウィルに対する考え方	16
問 24 リビングウィルの書面作成の有無	21
問 25 余命が短い場合の延命医療の意向	27
問 26 余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所	34

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的

平成 29 年度からの県政推進の羅針盤として策定した「新晴れの国おかやま生き生きプラン」に掲げる項目に関連した県民満足度と、県施策の重要性についての県民の意向を把握し、今後の施策展開の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行った。

2 調査の方法等

- | | |
|-----------|---|
| (1) 調査地域 | 岡山県内市町村 |
| (2) 調査対象者 | 岡山県内市町村在住の 18 歳以上の男女（令和 2 年 4 月 1 日現在）
2,500 人 |
| (3) 調査方法 | 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配布（郵送回収） |
| (4) 回収結果 | 1,424 人（回答率 57.0%） |
| (5) 調査期間 | 令和 2 年 5 月 29 日（金）～6 月 15 日（月） |

3 集計・分析方法

本調査では、回答者の年齢階層の偏りを補正するため、年齢区分ごとの母集団の構成比に合わせてデータに重み付けをするウェイトバック集計を行った。報告書中の値は、ウェイトバック集計後の値を掲載している。

年齢区分	推定母集団		有効回答数		補正值 (①/②)
	人数(人)	構成比(%) ①	人数(人)	構成比(%) ②	
10代	38,003	2.4	23	1.6	1.47413
20代	183,923	11.6	122	8.6	1.34500
30代	219,418	13.9	145	10.3	1.35005
40代	254,777	16.1	212	15.0	1.07219
50代	219,719	13.9	228	16.2	0.85976
60代	275,529	17.4	270	19.1	0.91044
70代以上	390,172	24.7	411	29.1	0.84696
合計	1,581,541	100.0	1,411	100.0	-

(注) 推定母集団は平成27年10月1日現在の国勢調査から算出

(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある

(注) 補正值は小数点以下を含んだ各構成比から算出しており、小数点以下第6位を四捨五入した各構成比から算出

(注) 総回収数1,424のうち、年齢が未回答数13

4 報告書の見方

1. 回答者数は、ウェイトバック集計を行い小数点以下第1位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
2. 経年比較のグラフでは、今年度調査と前年度調査はウェイトバック集計を行っているが、平成29年度以前の調査結果はウェイトバック集計を行っていない。
3. 比率については小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率が0.05未満の場合には0.0として扱っている。また、この四捨五入のため、比率計がちょうど100.0とならない場合がある。
4. グラフの中の計はその項目の回答者の実数で、比率算出の基数となる。
5. 複数回答が可能な項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は100.0%を超えている。
6. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
7. 報告書中の図表では、回答選択肢の中で最大値に網掛けをしている。

第Ⅱ部 調査結果

1 あなたご自身について

■問1(1) 性別及び年齢階層

単位：上段は人、下段の()内は%

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
男性	13 (2.4)	69 (12.3)	86 (15.5)	81 (14.6)	85 (15.3)	97 (17.5)	123 (22.0)	3 (0.5)	558 (39.2)
女性	18 (2.4)	91 (12.3)	107 (14.4)	133 (17.9)	96 (13.0)	129 (17.4)	165 (22.3)	2 (0.3)	741 (52.0)
無回答	3 (2.4)	4 (3.2)	3 (2.2)	13 (10.3)	15 (11.7)	19 (15.4)	60 (48.3)	8 (6.4)	124 (8.7)
計	34 (2.4)	164 (11.5)	196 (13.7)	227 (16.0)	196 (13.8)	246 (17.3)	348 (24.4)	13 (0.9)	1,424 (100.0)

(注)「10代」は、18歳・19歳である

<参考>岡山県の年齢別人口構成

単位：()内は%

	18-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
構成比	(2.4)	(11.6)	(13.9)	(16.1)	(13.9)	(17.4)	(24.7)	(100.0)

(注)上記構成比は、平成27年10月1日現在の国勢調査から算出

■問1(2) 世帯構成

単位：上段は人、下段の()内は%

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親・子の二世帯	親・子・孫の三世帯	その他	無回答	計
構成比	143 (10.1)	321 (22.5)	720 (50.6)	191 (13.4)	31 (2.2)	18 (1.2)	1,424 (100.0)

<参考>岡山県の家族構成

単位：()内は%

構成比	親族世帯全体(69.0)					非親族世帯	単独世帯	不詳	計
	核家族世帯全体(58.1)				その他の親族世帯				
	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯					
	(19.7)	(29.1)	(1.5)	(7.8)	(10.9)	(0.8)	(29.8)	(0.5)	(100.0)

(注)上記構成比は、平成27年10月1日現在の国勢調査から算出

■問1(3) 同居の子どもの有無

単位：上段は人、下段の()内は%

	子どもがいる	子どもはいない	無回答	計
構成比	664 (46.6)	695 (48.8)	65 (4.5)	1,424 (100.0)

■問1(4) 子どもの成長段階

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生・大 学受験生	短大、大 学、大学院 専門学校 などの 学生	社会人	その他	無回答	計
構成比	145 (21.9)	155 (23.4)	94 (14.1)	91 (13.7)	70 (10.5)	309 (46.6)	20 (3.0)	3 (0.4)	664 (100.0)

■問1（5）居住地域（県民局）

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

地 域	回答者数	配布者数
備前地域 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	690 (48.5)	1,188 (47.5)
備中地域 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、 早島町、里庄町、矢掛町)	546 (38.4)	1,010 (40.4)
美作地域 (津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、 西粟倉村、久米南町、美咲町)	172 (12.1)	302 (12.1)
無回答	15 (1.1)	
合計	1,424 (100.0)	2,500 (100.0)

■問1（6）居住地域（医療圏域）

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

地 域	回答者数	配布者数
県南東部 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	690 (48.5)	1,188 (47.5)
県南西部 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、 矢掛町)	499 (35.0)	929 (37.2)
高梁・新見 (高梁市、新見市)	47 (3.3)	81 (3.2)
真庭 (真庭市、新庄村)	36 (2.5)	64 (2.6)
津山・英田 (津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、 美咲町)	137 (9.6)	238 (9.5)
無回答	15 (1.1)	
合計	1,424 (100.0)	2,500 (100.0)

■問1（7）県内での通算居住年数

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	計
構成比	57 (4.0)	45 (3.1)	133 (9.3)	1,178 (82.8)	11 (0.8)	1,424 (100.0)

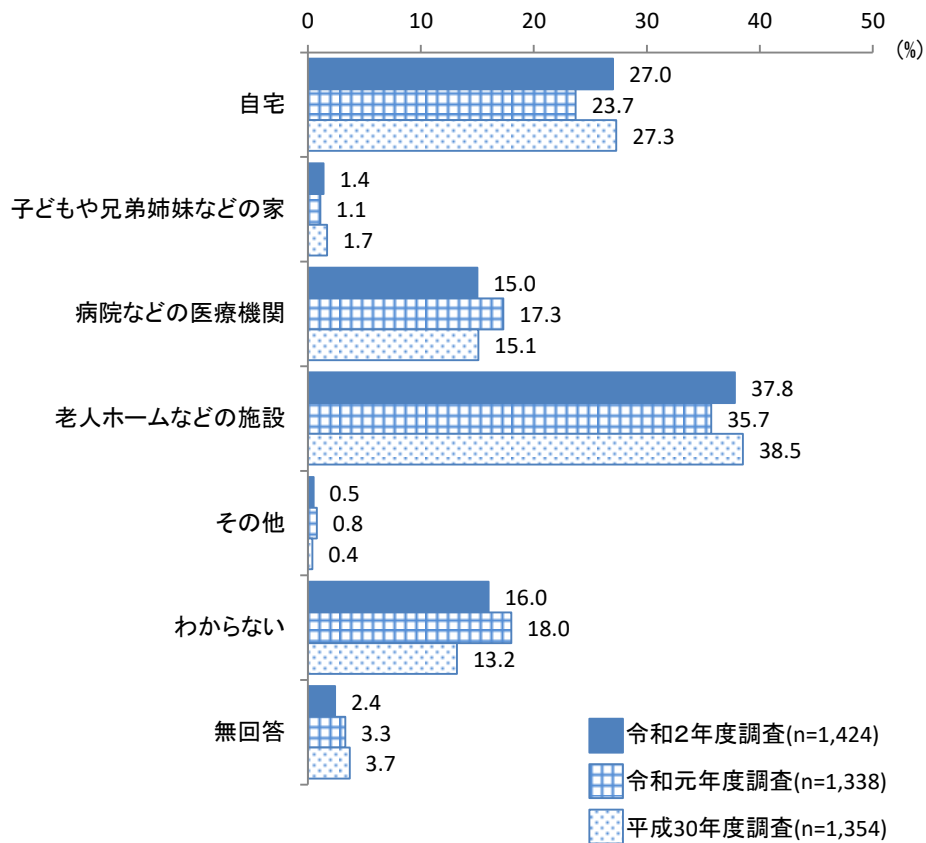
■問 1 (8) 職業

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	自営業(農 林漁業、商 工サービス 業などで、 家族従業 者を含む)	会社・団体 などの正 社員(正職 員)	会社・団体 などの役 員	パートタイ マー、アル バイト、契 約社員 など	専業主婦 (主夫)	学生	無職	無回答	計
構成比	118 (8.3)	464 (32.6)	32 (2.2)	292 (20.5)	161 (11.3)	60 (4.2)	279 (19.6)	19 (1.3)	1,424 (100.0)

2 人生の最終段階における医療等について

- 問 20 あなたが高齢となり、日常生活を送る上で介護が必要な状態（自分一人では身の回りのことをするのが困難）になった場合、どこで介護を受けたいですか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「自宅（子どもや兄弟姉妹などの家を含む）」（前年度差 3.6）

「老人ホームなどの施設」（前年度差 2.1）

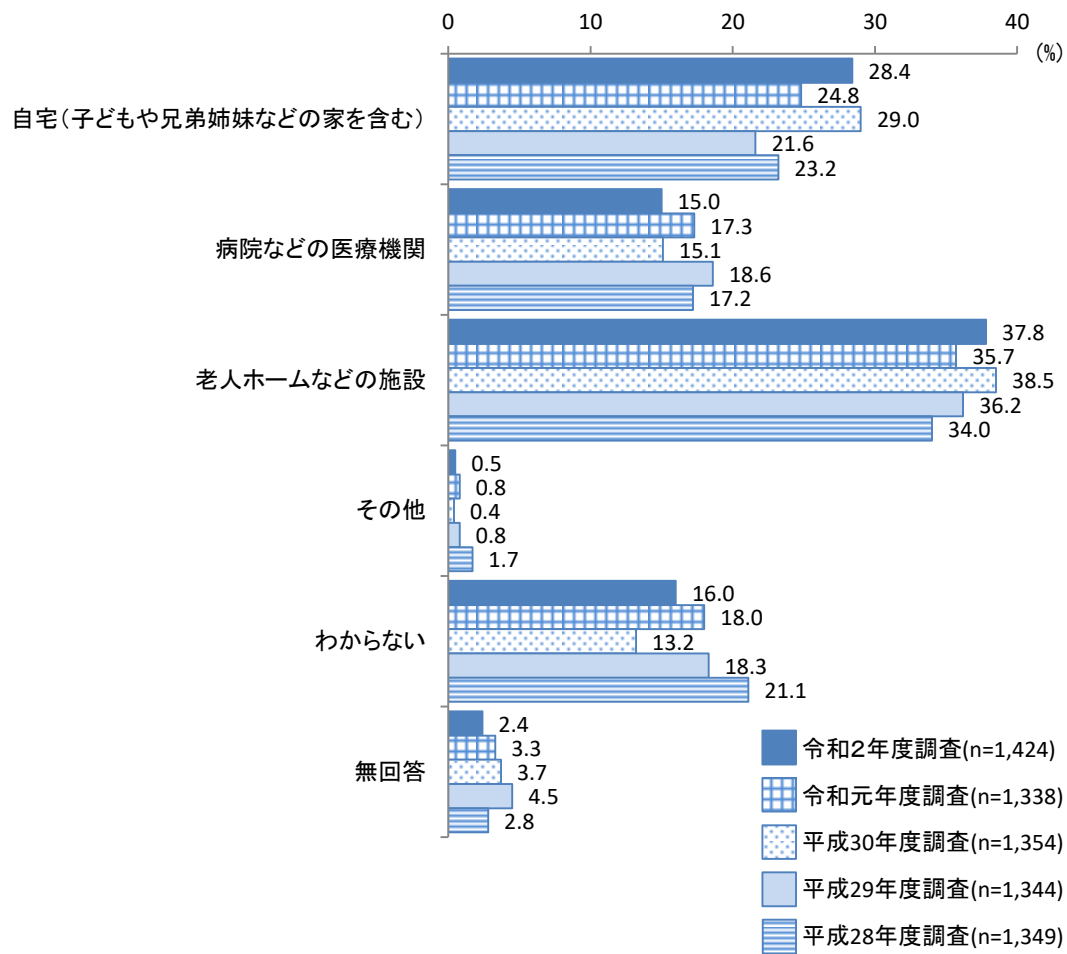
◆低下

「病院などの医療機関」（前年度差 ▲2.3）

「その他」（前年度差 ▲0.3）

「わからない」（前年度差 ▲2.0）

<経年比較>



※平成29年度調査までの調査結果と比較するため、「自宅(子どもや兄弟姉妹などの家を含む)」は本年度調査、令和元年度調査、平成30年度調査の「自宅」と「子どもや兄弟姉妹などの家」を合わせた割合で表記している。

【介護を受けたい場所】

(%)

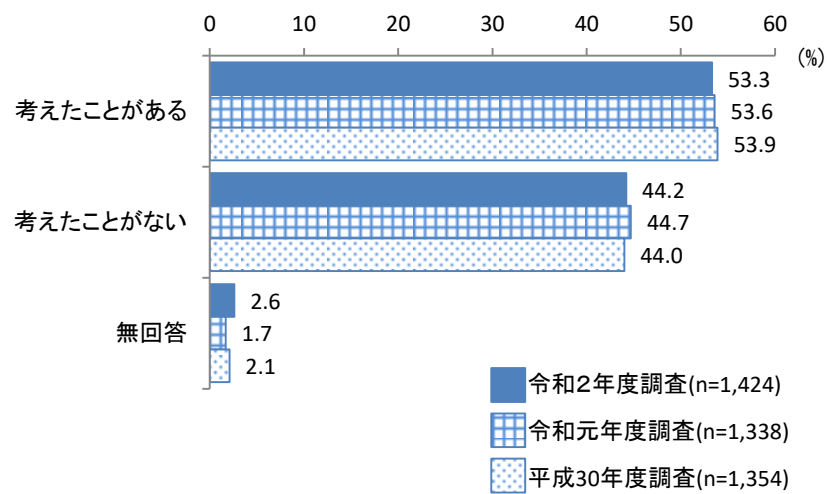
	全体	自宅	子どもや兄弟姉妹などの家	病院などの医療機関	設老人ホームなどの施設	その他	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,424	27.0	1.4	15.0	37.8	0.5	16.0	2.4
性別	男性 n= 558	31.9	1.2	14.4	31.9	0.6	17.0	2.9
	女性 n= 741	23.3	1.5	14.7	43.5	0.3	15.1	1.8
年齢階層	10代 n= 34	17.4	4.3	4.3	43.5	4.3	17.4	8.7
	20代 n= 164	27.9	1.6	13.1	30.3	0.8	21.3	4.9
	30代 n= 196	24.8	2.8	8.3	44.8	0.0	18.6	0.7
	40代 n= 227	22.2	0.5	13.2	42.5	0.5	18.4	2.8
	50代 n= 196	25.0	1.3	13.2	41.7	0.0	17.5	1.3
	60代 n= 246	28.1	1.1	18.9	38.1	0.4	12.6	0.7
年齢階層	70代以上 n= 348	31.9	1.0	20.4	30.9	0.5	12.2	3.2
世帯構成	60代以上 (再掲) n= 594	30.3	1.0	19.8	33.9	0.4	12.3	2.2
	ひとり暮らし n= 143	24.2	1.2	18.4	42.4	0.6	12.0	1.2
	夫婦のみ n= 321	26.9	1.0	17.9	35.4	0.5	14.6	3.7
	親・子の二世帯 n= 720	27.8	1.3	13.8	37.5	0.5	16.9	2.1
	親・子・孫の三世帯 n= 191	26.4	2.8	11.7	39.4	0.0	18.3	1.4
	その他 n= 31	26.0	0.0	19.2	30.1	0.0	18.5	6.3
同居の子ども	子どもがいる n= 664	27.8	1.6	14.6	39.6	0.2	14.1	2.1
	子どもはいない n= 695	26.0	1.3	15.1	36.4	0.8	17.8	2.6
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 690	26.6	2.0	16.9	37.6	0.5	13.8	2.4
	備中地域 n= 546	27.7	0.5	14.0	36.1	0.5	18.6	2.6
	美作地域 n= 172	25.5	1.6	10.2	44.3	0.0	16.5	1.9
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 690	26.6	2.0	16.9	37.6	0.5	13.8	2.4
	県南西部 n= 499	28.1	0.5	14.2	35.0	0.6	19.3	2.4
	高梁・新見 n= 47	23.4	0.0	12.3	48.7	0.0	10.9	4.8
	真庭 n= 36	9.9	0.0	11.1	50.9	0.0	28.1	0.0
	津山・英田 n= 137	29.5	2.0	10.0	42.6	0.0	13.5	2.4
居住年数	5年未満 n= 57	25.6	0.0	16.0	49.1	0.0	9.3	0.0
	5年以上10年未満 n= 45	29.0	3.0	7.3	48.9	0.0	7.8	4.0
	10年以上20年未満 n= 133	21.8	2.1	13.1	37.7	1.1	21.1	3.0
	20年以上 n= 1,178	27.5	1.3	15.4	37.0	0.4	16.1	2.3
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 118	33.4	0.7	13.1	38.0	0.0	14.8	0.0
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 464	24.8	1.6	15.4	35.8	0.5	18.2	3.6
	会社・団体などの役員 n= 32	34.3	2.7	19.5	28.4	0.0	12.4	2.7
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 292	24.5	0.8	12.2	44.2	0.8	16.4	1.1
	専業主婦(主夫) n= 161	26.1	1.4	16.3	41.7	0.0	12.9	1.6
	学生 n= 60	25.5	2.5	4.7	48.7	0.0	18.7	0.0
	無職 n= 279	29.9	1.6	19.2	31.3	0.6	13.8	3.6

○介護を受けたい場所について

全体では「老人ホームなどの施設」との回答が最も高く、次いで「自宅」、「病院などの医療機関」などの順となっている。

性別にみると、女性では「老人ホームなどの施設」(43.5%)との回答が「自宅」(23.3%)との回答を20.0ポイント以上上回っているものの、男性では「自宅」、「老人ホームなどの施設」ともに31.9%と差はみられない。年齢階層別にみると、「老人ホームなどの施設」との回答は10代、30代で4割台半ばと高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。職業別にみると、会社・団体などの役員では「自宅」(34.3%)が「老人ホームなどの施設」(28.4%)を5.9ポイント上回り最も高くなっている。

■問 21 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、これまで考えたことがありますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆低下

「考えたことがある」(前年度差▲0.3)

「考えたことがない」(前年度差▲0.5)

【死が近い場合の医療について考えた経験】

(%)

	全 体	考 え た こ と が あ る	考 え た こ と が な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,424	53.3	44.2	2.6
性別	男性 n= 558	43.0	54.4	2.6
	女性 n= 741	59.9	37.9	2.2
年齢階層	10代 n= 34	17.4	73.9	8.7
	20代 n= 164	32.8	63.1	4.1
	30代 n= 196	49.0	51.0	0.0
	40代 n= 227	50.0	48.1	1.9
	50代 n= 196	55.3	44.3	0.4
	60代 n= 246	65.6	31.5	3.0
	70代以上 n= 348	60.6	35.3	4.1
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 594	62.6	33.7	3.7
世帯構成	ひとり暮らし n= 143	57.0	40.6	2.4
	夫婦のみ n= 321	61.8	36.3	2.0
	親・子の二世帯 n= 720	51.8	46.0	2.2
	親・子・孫の三世帯 n= 191	42.8	53.5	3.7
	その他 n= 31	43.2	47.8	9.0
同居の子ども	子どもがいる n= 664	53.8	43.5	2.7
	子どもはいない n= 695	51.9	45.8	2.2
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 690	54.8	42.4	2.8
	備中地域 n= 546	50.8	46.8	2.4
	美作地域 n= 172	54.7	43.1	2.2
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 690	54.8	42.4	2.8
	県南西部 n= 499	50.8	47.0	2.2
	高梁・新見 n= 47	50.8	44.5	4.8
	真庭 n= 36	59.2	40.8	0.0
	津山・英田 n= 137	53.5	43.8	2.8
居住年数	5年未満 n= 57	51.3	45.3	3.4
	5年以上10年未満 n= 45	56.5	41.5	2.0
	10年以上20年未満 n= 133	47.0	50.2	2.9
	20年以上 n= 1,178	53.8	43.8	2.4
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 118	53.6	44.2	2.2
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 464	43.2	53.7	3.1
	会社・団体などの役員 n= 32	59.9	34.5	5.6
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 292	59.5	39.8	0.7
	専業主婦(主夫) n= 161	70.9	26.9	2.2
	学生 n= 60	29.9	70.1	0.0
	無職 n= 279	56.3	39.3	4.3

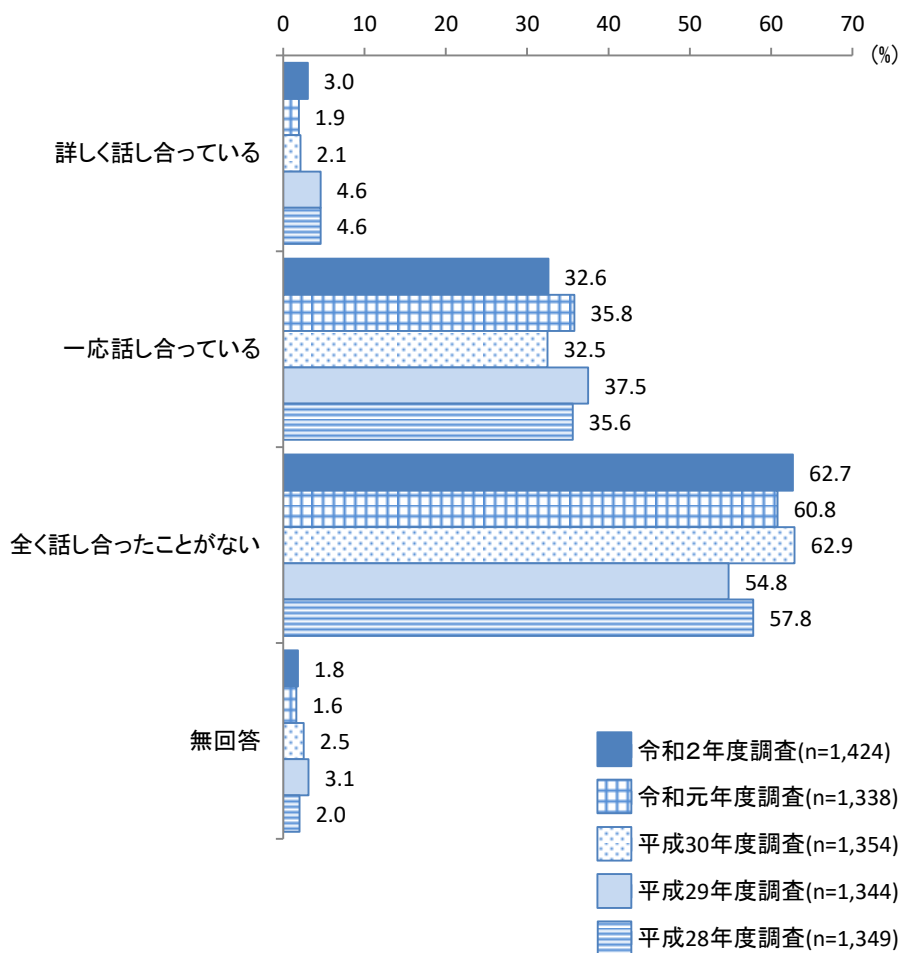
○死が近い場合の医療について考えた経験について

全体では「考えたことがある」(53.3%)が「考えたことがない」(44.2%)を9.1ポイント上回っている。性別にみると、男性は「考えたことがない」との回答が高くなっており、女性に比べ男性の関心が低いことがうかがえる。

年齢階層別にみると、40代以上で「考えたことがある」との回答が高くなり、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

職業別でみると学生で「考えたことがない」(70.1%)との回答が「考えたことがある」(29.9%)との回答を40.0ポイント以上上回っている。

■問 22 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族又は医療介護関係者などとのくらい話し合ったことがありますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

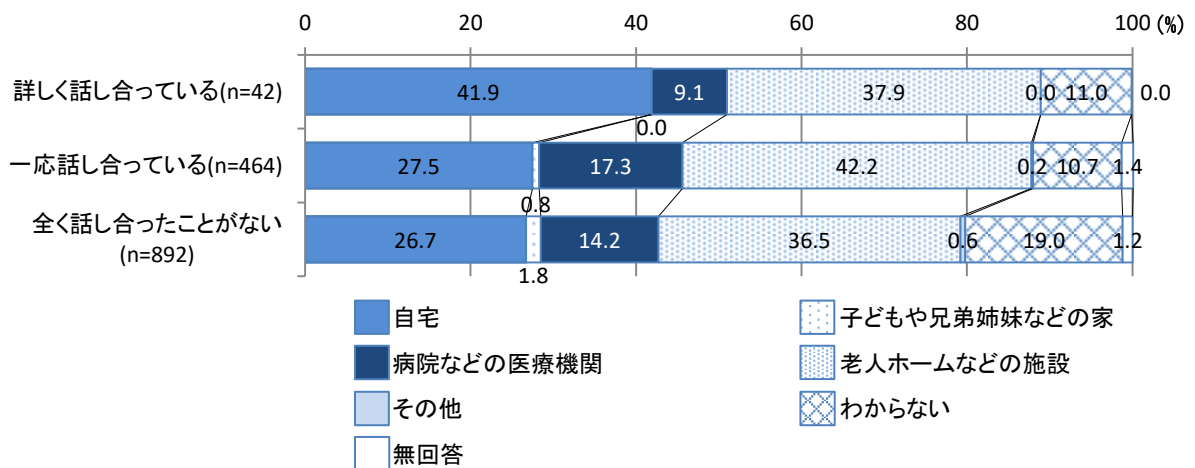
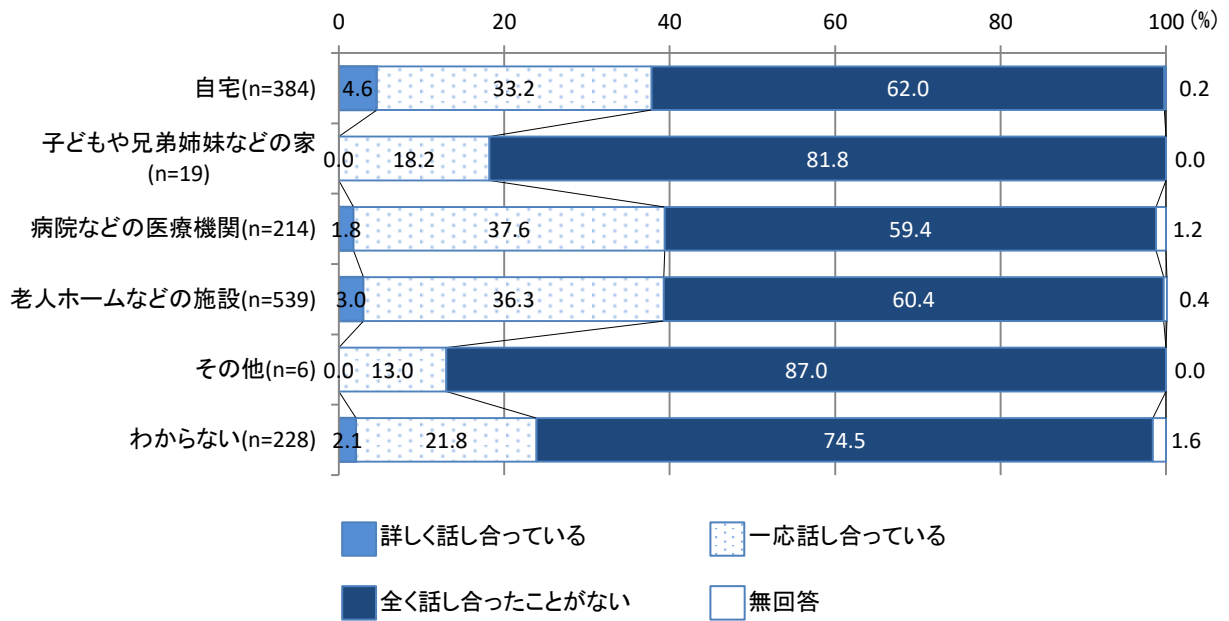
「詳しく話し合っている」(前年度差 1.1)

「全く話し合ったことがない」(前年度差 1.9)

◆低下

「一応話し合っている」(前年度差 ▲3.2)

<問 20 とのクロス集計>



【死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い】

(%)

	全 体	る 詳 しく 話 し 合 っ て い	一 応 話 し 合 っ て い	全 く 話 し 合 っ た こ と が な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,424	3.0	32.6	62.7	1.8
性別	男性 n= 558	2.2	25.2	70.4	2.2
	女性 n= 741	3.1	36.5	59.0	1.4
年齢階層	10代 n= 34	0.0	8.7	82.6	8.7
	20代 n= 164	2.5	17.2	77.0	3.3
	30代 n= 196	4.8	22.8	72.4	0.0
	40代 n= 227	2.8	22.6	72.2	2.4
	50代 n= 196	1.8	28.9	68.4	0.9
	60代 n= 246	3.0	39.6	56.7	0.7
	70代以上 n= 348	3.4	50.6	43.6	2.4
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 594	3.2	46.1	49.0	1.7
世帯構成	ひとり暮らし n= 143	3.2	32.0	62.5	2.4
	夫婦のみ n= 321	2.7	46.4	49.8	1.1
	親・子の二世帯 n= 720	3.1	27.4	67.9	1.6
	親・子・孫の三世帯 n= 191	3.5	28.0	66.2	2.3
	その他 n= 31	0.0	31.3	59.0	9.7
同居の子ども	子どもがいる n= 664	3.2	31.6	63.5	1.7
	子どもはいない n= 695	2.9	31.9	63.7	1.6
居住地① (県民局)	備前地域 n= 690	3.2	31.7	63.2	1.8
	備中地域 n= 546	2.8	33.8	61.5	1.9
	美作地域 n= 172	2.9	29.7	65.8	1.6
居住地② (医療圏域)	県南東部 n= 690	3.2	31.7	63.2	1.8
	県南西部 n= 499	2.0	34.1	62.3	1.6
	高梁・新見 n= 47	11.4	30.6	53.2	4.8
	真庭 n= 36	3.0	32.1	62.5	2.4
	津山・英田 n= 137	2.8	29.0	66.7	1.5
居住年数	5年未満 n= 57	6.2	29.7	64.1	0.0
	5年以上10年未満 n= 45	0.0	30.8	67.1	2.0
	10年以上20年未満 n= 133	5.1	24.5	68.2	2.2
	20年以上 n= 1,178	2.7	33.5	62.0	1.8
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 118	1.9	33.8	63.7	0.7
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 464	3.2	20.7	73.4	2.6
	会社・団体などの役員 n= 32	2.9	42.4	52.0	2.7
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 292	2.5	36.3	60.4	0.7
	専業主婦(主夫) n= 161	3.5	46.5	49.4	0.6
	学生 n= 60	2.2	13.8	83.9	0.0
	無職 n= 279	3.6	42.5	50.8	3.1

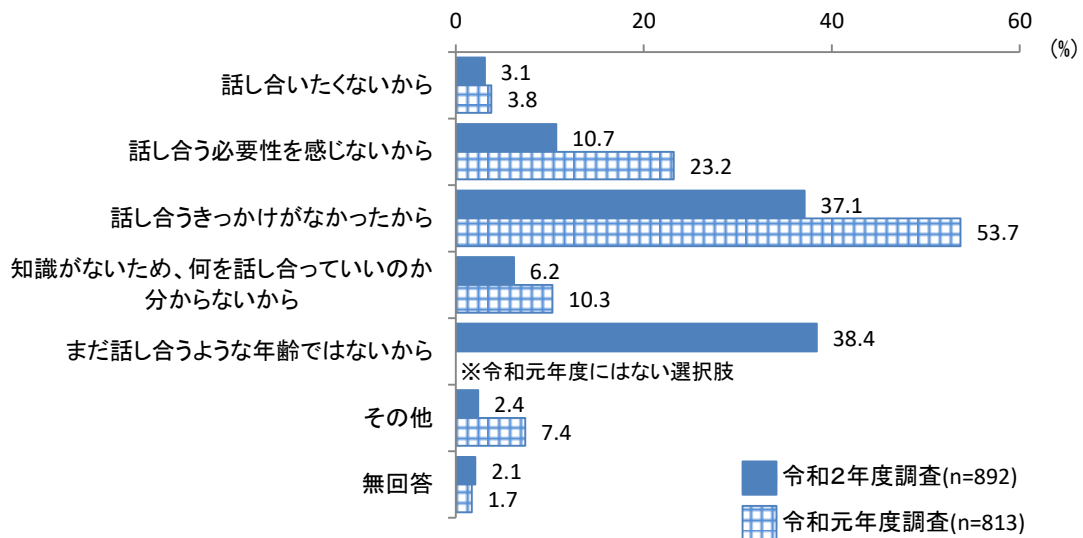
○死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合いについて

全体では「全く話し合ったことがない」との回答が6割を超え最も高くなっている。

性別にみると、「一応話し合っている」との回答は女性(36.5%)が男性(25.2%)を10.0ポイント以上上回っている。

年齢階層別にみると、「全く話し合ったことがない」との回答は10代で8割を超え最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられ、70代以上では「一応話し合っている」(50.6%)が「全く話し合ったことがない」(43.6%)を7.0ポイント上回っている。

■問 22-1 問 22 で「3. 全く話し合ったことがない」に○印をつけた方におたずねします。
話し合ったことがない理由は何ですか。あてはまる番号 1 つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆低下

「話し合いたくないから」(前年度差▲0.7)

「話し合う必要性を感じないから」(前年度差▲12.5)

「話し合うきっかけがなかったから」(前年度差▲16.6)

「知識がないため、何を話し合っているのか分からないから」(前年度差▲4.1)

「その他」(前年度差▲5.0)

【死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由】

(%)

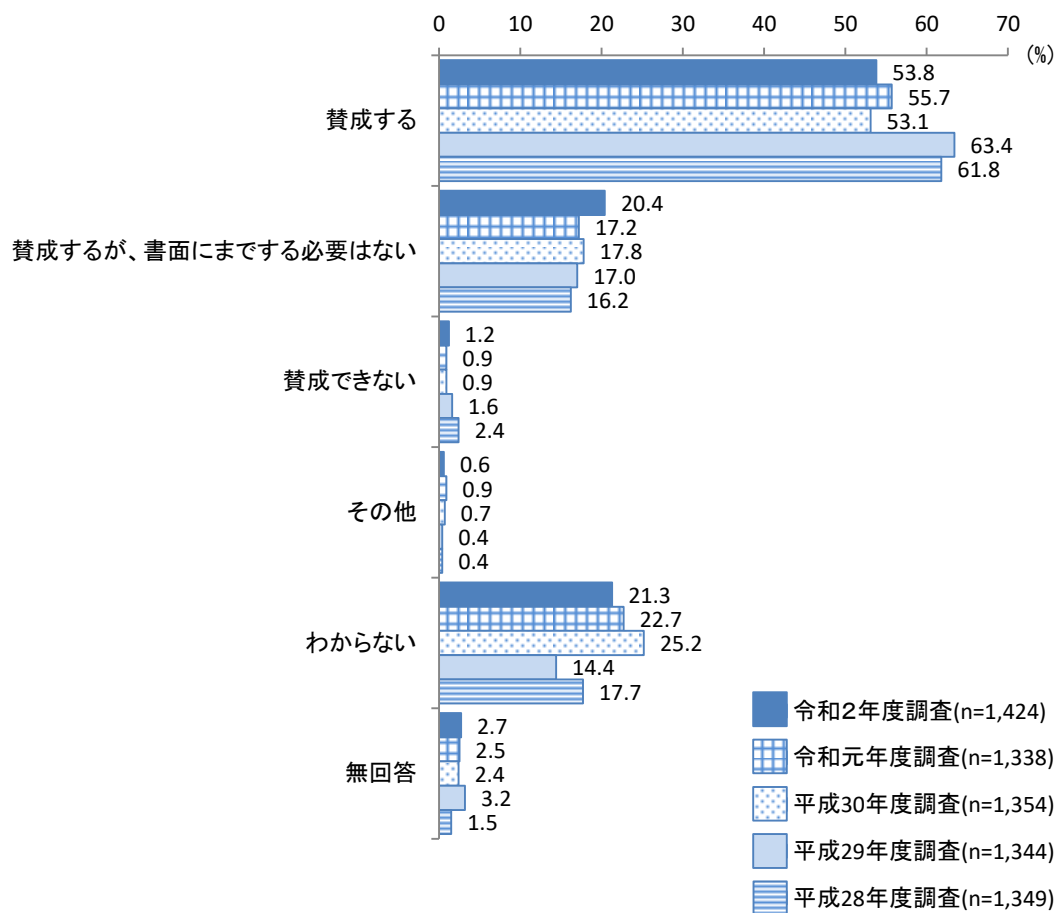
	全体	話し合いを したくないか	話し合う 必要性を 感じないか	話し合う きっかけ がなかった	知識が ないため、 何を話さ ないか	まだ話し 合おうよ うな年	その他	無 回 答
全体	全体 n= 892	3.1	10.7	37.1	6.2	38.4	2.4	2.1
性別	男性 n= 393	4.6	12.6	36.0	6.2	36.1	2.1	2.4
	女性 n= 438	1.0	8.3	38.6	6.4	42.4	2.1	1.2
年齢階層	10代 n= 28	0.0	5.3	15.8	0.0	78.9	0.0	0.0
	20代 n= 126	3.2	6.4	25.5	4.3	59.6	0.0	1.1
	30代 n= 142	1.9	2.9	32.4	5.7	55.2	1.0	1.0
	40代 n= 164	0.7	9.2	41.8	4.6	39.9	2.0	2.0
	50代 n= 134	3.2	9.6	38.5	9.6	35.3	1.3	2.6
	60代 n= 139	2.0	15.7	43.8	7.2	24.2	5.2	2.0
	70代以上 n= 152	7.8	20.7	42.5	7.3	12.3	5.0	4.5
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 291	5.0	18.3	43.1	7.2	18.0	5.1	3.3
世帯構成	ひとり暮らし n= 89	2.5	16.4	27.7	5.9	32.9	9.9	4.8
	夫婦のみ n= 160	4.8	13.7	42.2	7.7	27.1	2.8	1.6
	親・子の二世帯 n= 489	2.6	7.7	37.3	6.2	43.1	1.2	1.9
	親・子・孫の三世帯 n= 127	3.1	13.3	39.2	3.1	40.7	0.0	0.7
	その他 n= 19	0.0	25.1	16.4	17.1	26.1	9.5	5.8
同居の子ども	子どもがいる n= 421	2.4	8.8	41.0	5.5	39.0	1.2	2.2
	子どもはいない n= 443	3.6	12.0	33.9	6.6	38.6	3.5	1.8
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 436	3.2	7.8	37.8	5.9	40.5	3.1	1.9
	備中地域 n= 336	3.6	13.3	36.5	6.1	36.7	1.8	1.9
	美作地域 n= 113	0.7	14.2	36.5	7.9	35.5	1.5	3.6
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 436	3.2	7.8	37.8	5.9	40.5	3.1	1.9
	県南西部 n= 311	3.9	13.1	36.6	6.5	35.9	2.0	2.1
	高梁・新見 n= 25	0.0	16.4	36.2	0.0	47.4	0.0	0.0
	真庭 n= 22	0.0	18.0	22.9	0.0	51.4	3.8	3.9
	津山・英田 n= 91	0.9	13.3	39.9	9.8	31.6	0.9	3.6
居住年数	5年未満 n= 36	0.0	3.7	44.8	7.6	43.9	0.0	0.0
	5年以上10年未満 n= 30	0.0	3.6	53.0	3.6	33.4	0.0	6.4
	10年以上20年未満 n= 91	0.0	3.5	31.5	4.2	54.6	3.4	2.8
	20年以上 n= 730	3.7	12.2	36.9	6.4	36.4	2.5	2.0
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 75	4.5	20.7	39.0	5.5	28.0	1.2	1.1
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 341	1.8	10.3	37.5	4.7	44.2	1.2	0.3
	会社・団体などの役員 n= 16	10.4	10.8	38.5	5.2	24.3	5.6	5.2
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 176	2.0	5.8	38.5	6.9	41.7	2.8	2.4
	専業主婦(主夫) n= 80	2.2	13.2	41.6	9.7	30.0	3.3	0.0
	学生 n= 50	2.7	0.0	27.4	0.0	69.9	0.0	0.0
	無職 n= 142	5.6	15.3	35.3	9.8	21.5	5.5	7.1

○死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由について

全体では、「話し合うきっかけがなかったから」、「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答がともに約4割と高くなっている。

年齢階層別にみると、10～30代までで「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答が高く、40～70代以上では「話し合うきっかけがなかったから」との回答が高くなっている。世帯構成別でみると、夫婦のみでは「話し合うきっかけがなかったから」(42.2%)が「まだ話し合うような年齢ではないから」(27.1%)を15.0ポイント以上上回っている。職業別にみると、自営業で「話し合う必要性を感じないから」との回答が2割を超え他の職業に比べやや高くなっている。

■問 23 自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面（リビングウィル、事前指示書などと呼ばれます。）をあらかじめ作成しておくことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「賛成するが、書面にまでする必要はない」（前年度差 3.2）

「賛成できない」（前年度差 0.3）

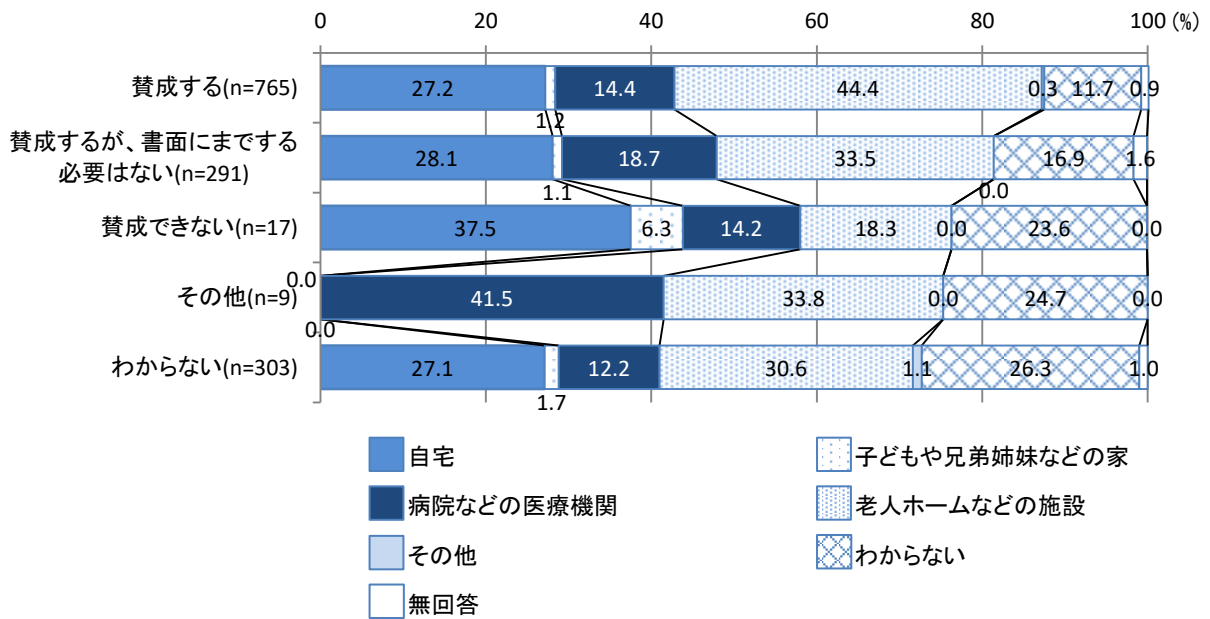
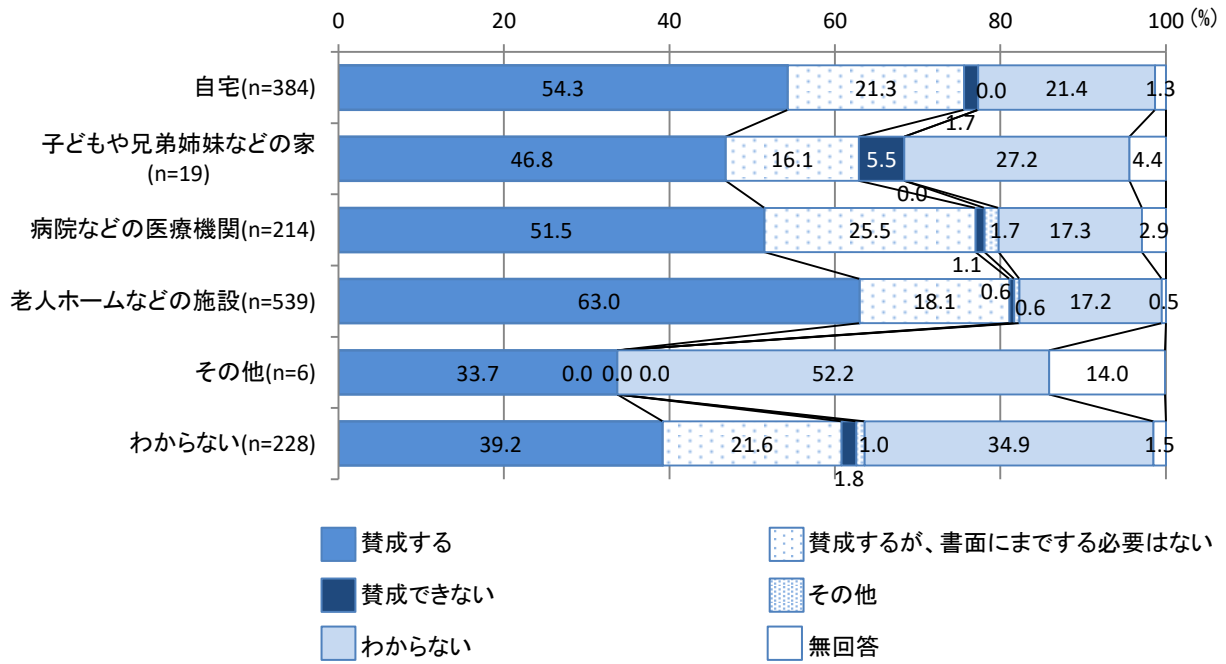
◆低下

「賛成する」（前年度差▲1.9）

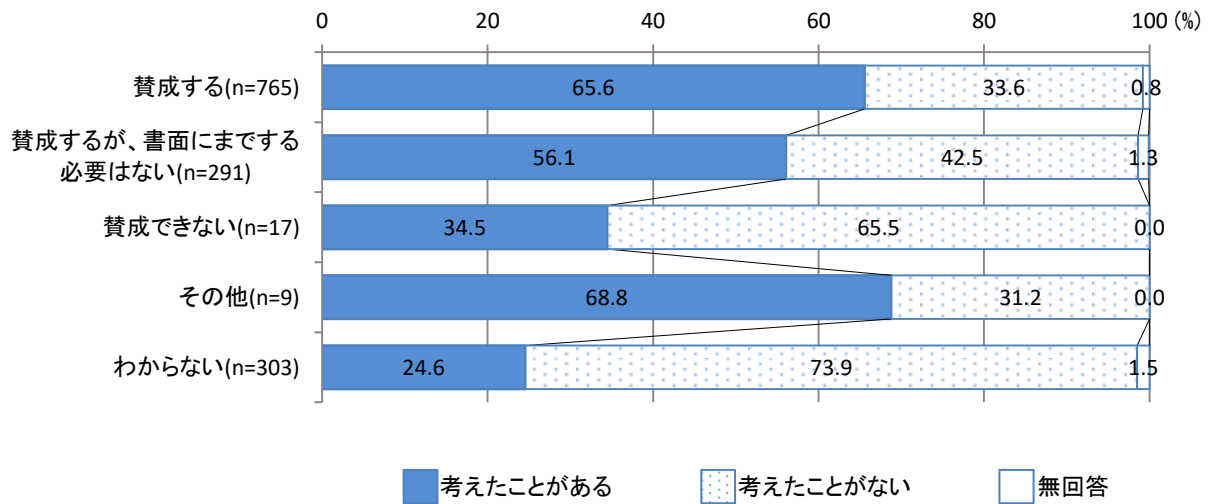
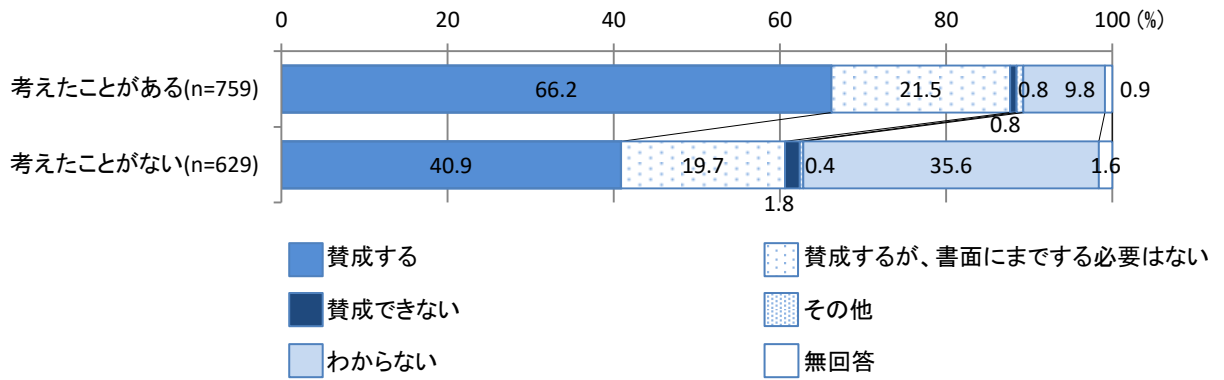
「その他」（前年度差▲0.3）

「わからない」（前年度差▲1.4）

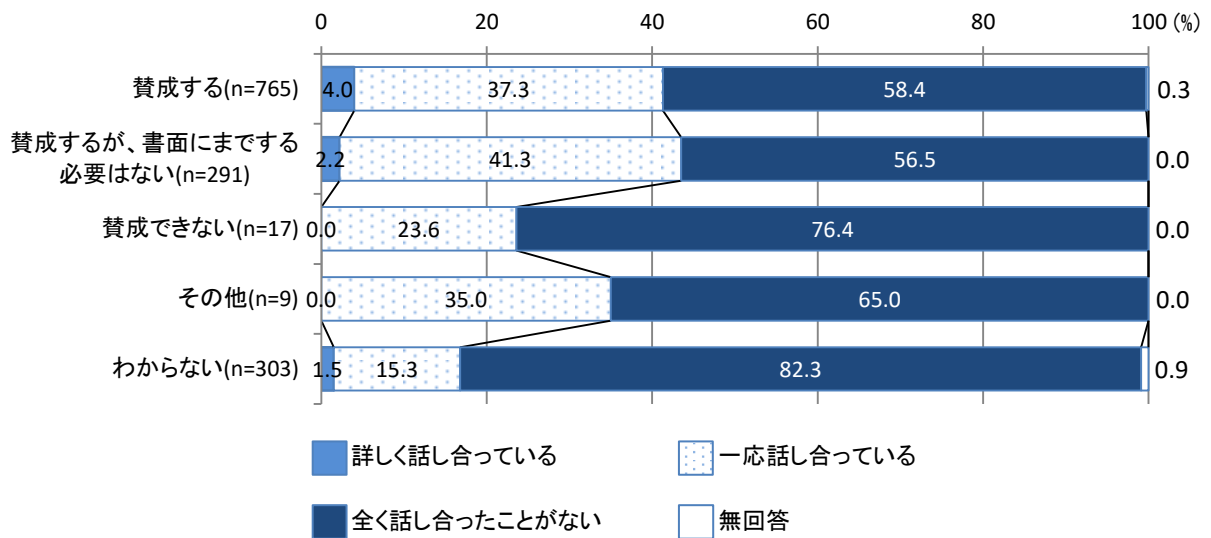
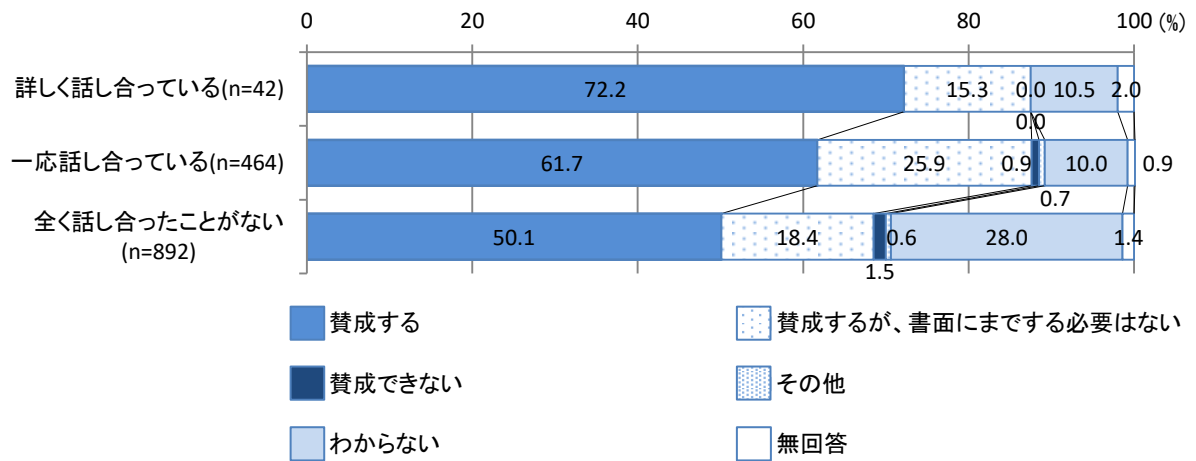
<問 20 とのクロス集計>



<問 21 とのクロス集計>



<問 22 とのクロス集計>



【リビングウィルに対する考え方】

(%)

	全 体	賛 成 す る	ま で 賛 成 す る が 、 書 面 に は な い	賛 成 で き な い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,424	53.8	20.4	1.2	0.6	21.3	2.7
性別	男性 n= 558	48.1	20.3	2.3	0.6	25.6	3.0
	女性 n= 741	59.5	19.7	0.2	0.5	17.9	2.1
年齢階層	10代 n= 34	52.2	13.0	0.0	0.0	26.1	8.7
	20代 n= 164	54.9	12.3	0.8	0.8	27.9	3.3
	30代 n= 196	58.6	15.9	2.8	0.0	22.8	0.0
	40代 n= 227	58.5	16.0	1.4	1.4	20.3	2.4
	50代 n= 196	61.8	19.7	0.4	0.0	17.1	0.9
	60代 n= 246	56.3	23.0	1.5	0.4	17.0	1.9
	70代以上 n= 348	40.9	29.0	0.7	1.0	23.1	5.4
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 594	47.3	26.5	1.0	0.7	20.6	3.9
世帯構成	ひとり暮らし n= 143	60.0	13.8	2.5	0.7	17.6	5.4
	夫婦のみ n= 321	52.3	24.9	1.0	0.5	19.0	2.2
	親・子の二世帯 n= 720	55.2	19.3	1.2	0.5	21.7	2.0
	親・子・孫の三世帯 n= 191	45.1	22.0	0.5	1.1	28.5	2.8
	その他 n= 31	53.2	22.3	2.9	0.0	15.3	6.3
同居の子ども	子どもがいる n= 664	54.9	21.2	0.9	0.8	19.2	3.0
	子どもはいない n= 695	52.9	19.1	1.6	0.5	23.8	2.1
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 690	57.4	19.9	1.6	0.6	17.5	3.0
	備中地域 n= 546	47.8	21.8	1.1	0.6	26.0	2.6
	美作地域 n= 172	57.9	17.6	0.0	0.6	21.7	2.1
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 690	57.4	19.9	1.6	0.6	17.5	3.0
	県南西部 n= 499	48.6	21.4	1.0	0.7	25.8	2.4
	高梁・新見 n= 47	39.0	26.4	2.3	0.0	27.4	4.8
	真庭 n= 36	65.0	13.5	0.0	0.0	21.5	0.0
	津山・英田 n= 137	56.1	18.7	0.0	0.8	21.8	2.7
居住年数	5年未満 n= 57	59.4	16.5	4.8	0.0	17.5	1.9
	5年以上10年未満 n= 45	72.0	13.5	0.0	0.0	12.5	2.0
	10年以上20年未満 n= 133	58.8	13.9	1.6	0.0	22.2	3.5
	20年以上 n= 1,178	52.1	21.7	1.0	0.8	21.8	2.6
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 118	46.3	26.3	2.6	2.4	20.9	1.4
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 464	55.8	17.2	1.9	0.5	21.6	3.1
	会社・団体などの役員 n= 32	61.1	23.8	0.0	4.3	10.8	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 292	62.2	17.0	0.0	0.3	19.8	0.7
	専業主婦(主夫) n= 161	56.1	23.8	0.0	0.0	17.9	2.1
	学生 n= 60	62.5	11.8	0.0	0.0	25.7	0.0
	無職 n= 279	40.7	26.1	1.7	0.6	24.7	6.2

○リビングウィルに対する考え方について

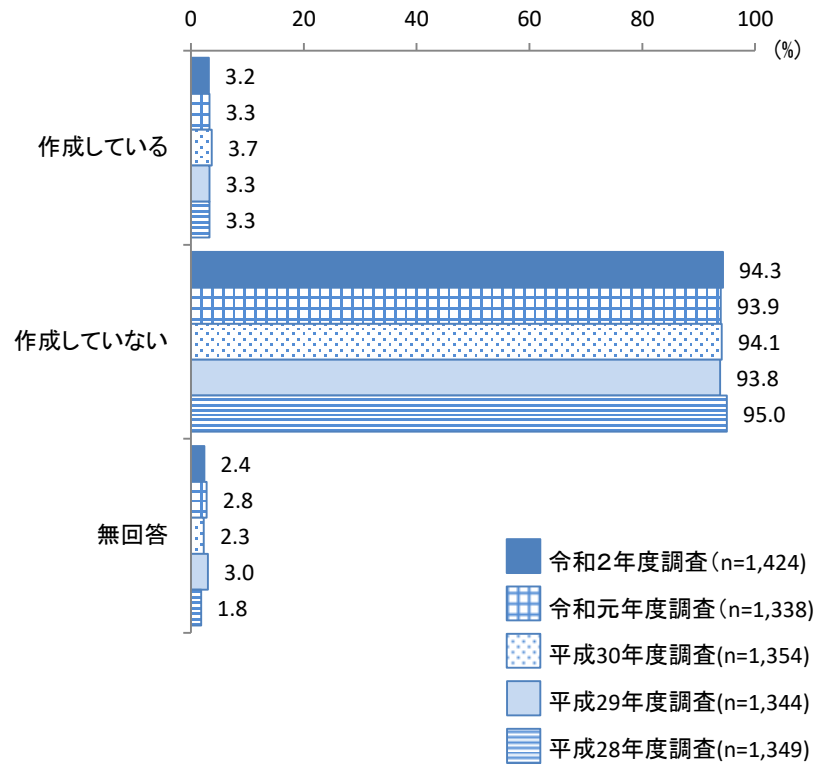
全体では「賛成する」との回答が半数を超え最も高く、次いで「賛成するが、書面にまでする必要はない」などの順となっている。

性別にみると、「賛成する」との回答は女性(59.5%)が男性(48.1%)を10.0ポイント以上上回っている。

年齢階層別にみると、「賛成する」との回答は30～50代で6割前後と高くなっている。また、「賛成するが、書面にまでする必要はない」との回答は70代以上で約3割と最も高く、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

居住年数別にみると、「賛成する」との回答は5年以上10年未満で7割を超え他の居住年数に比べ高くなっている。

■問 24 あなたは実際に書面を作成していますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

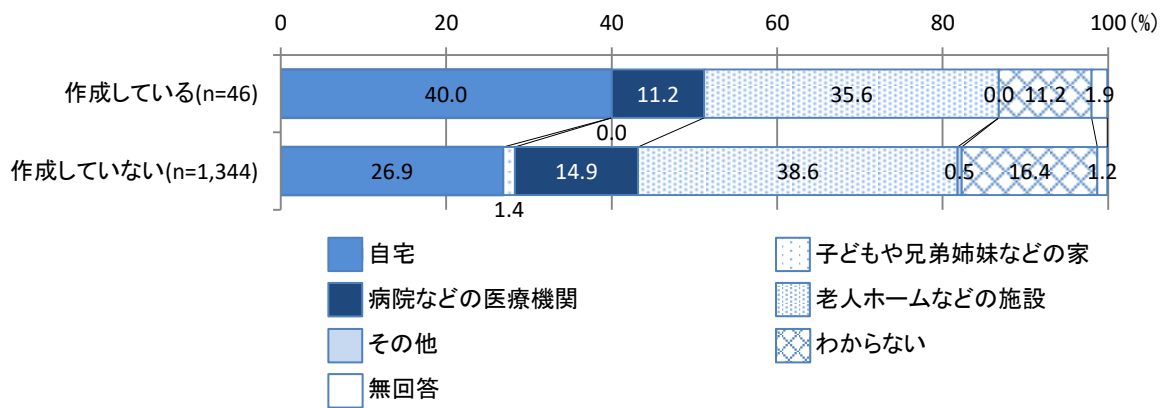
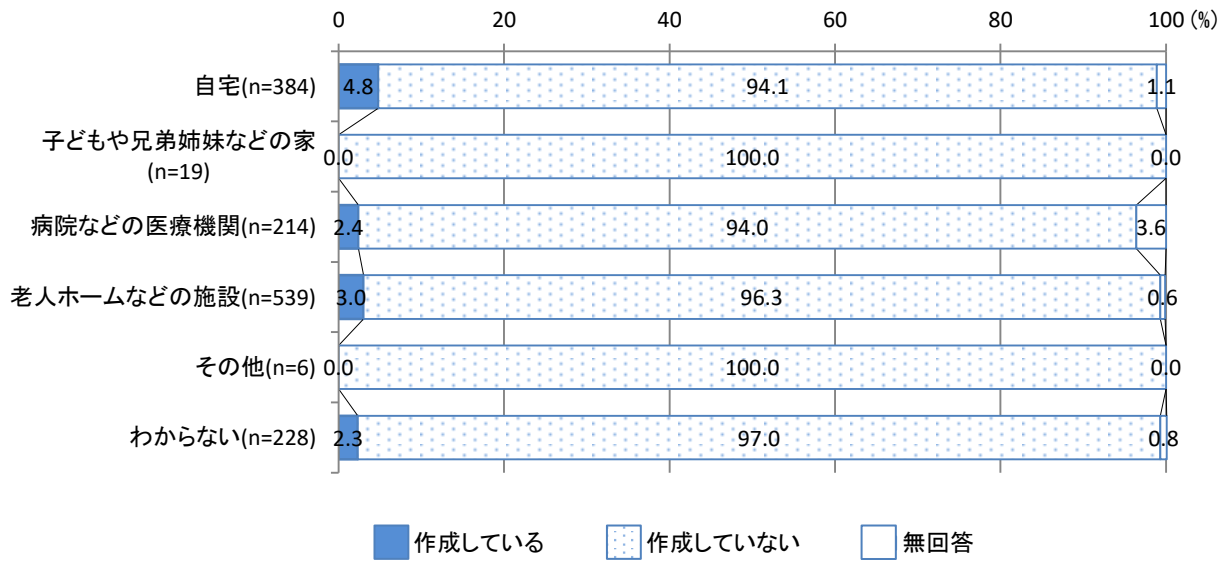
◆上昇

「作成していない」(前年度差 0.4)

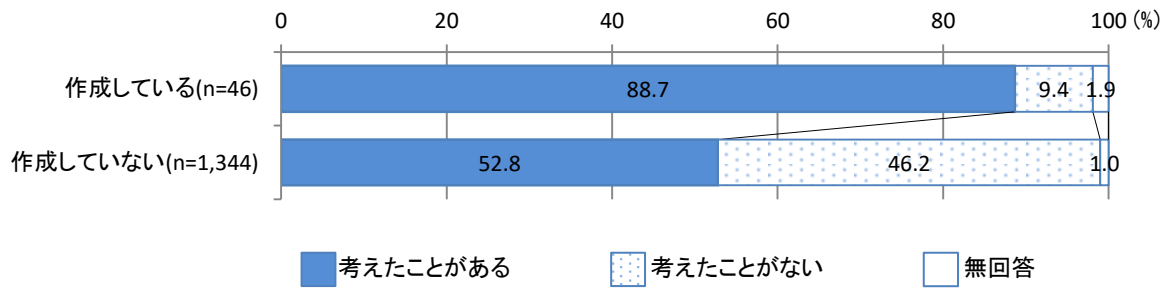
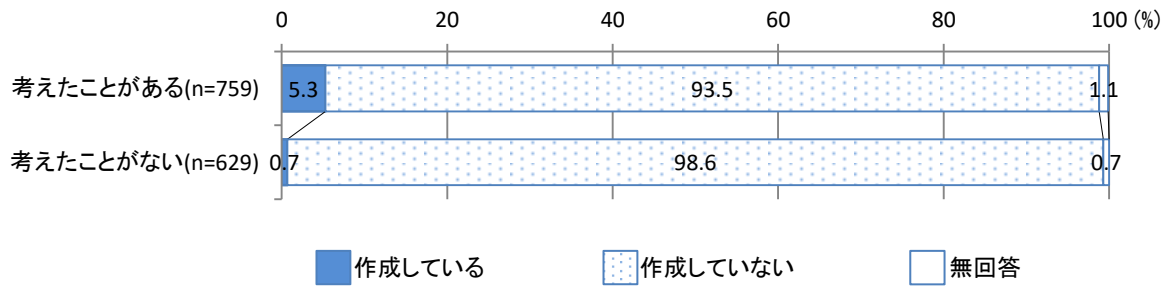
◆低下

「作成している」(前年度差 ▲0.1)

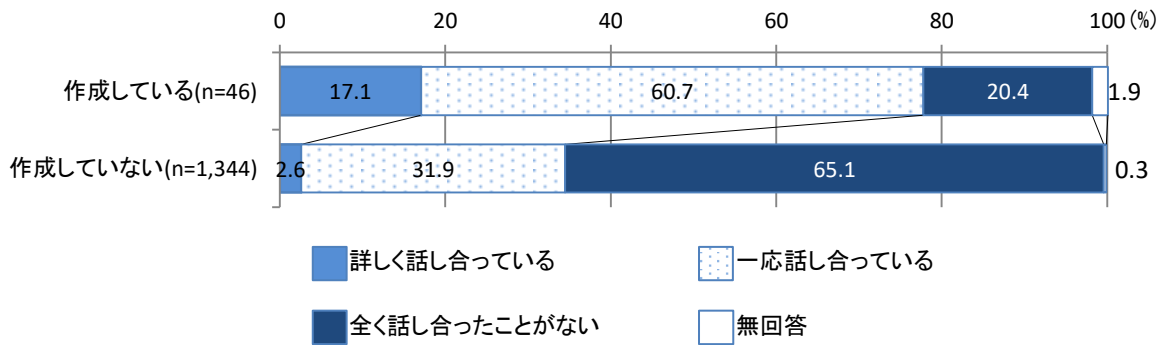
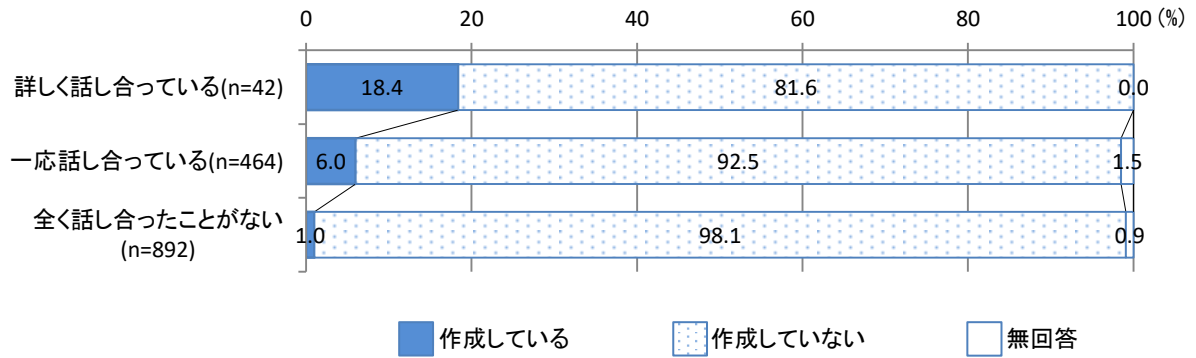
<問 20 とのクロス集計>



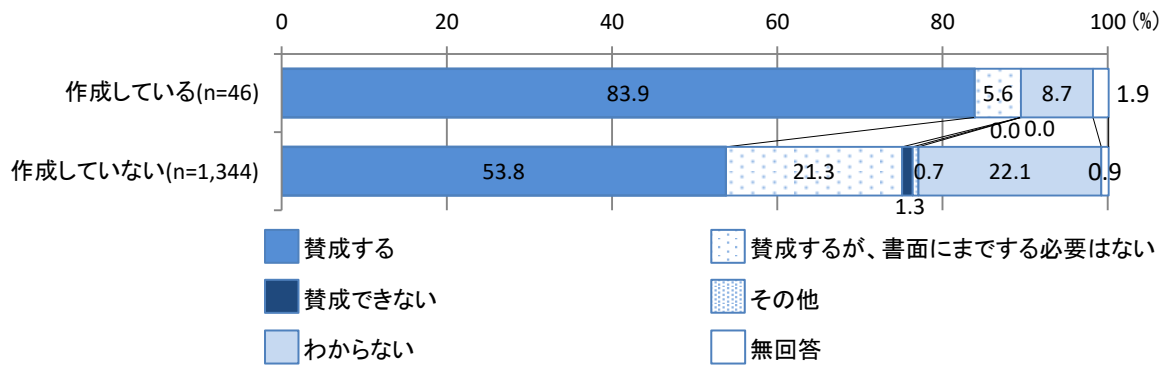
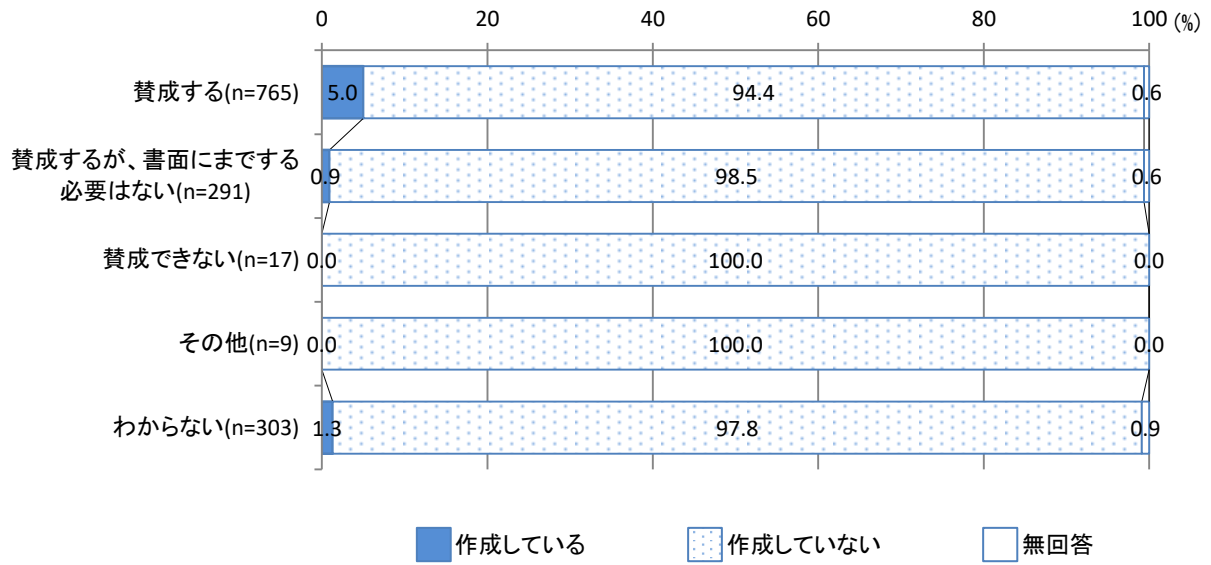
<問 21 とのクロス集計>



<問 22 とのクロス集計>



<問 23 とのクロス集計>



【リビングウィルの書面作成の有無】

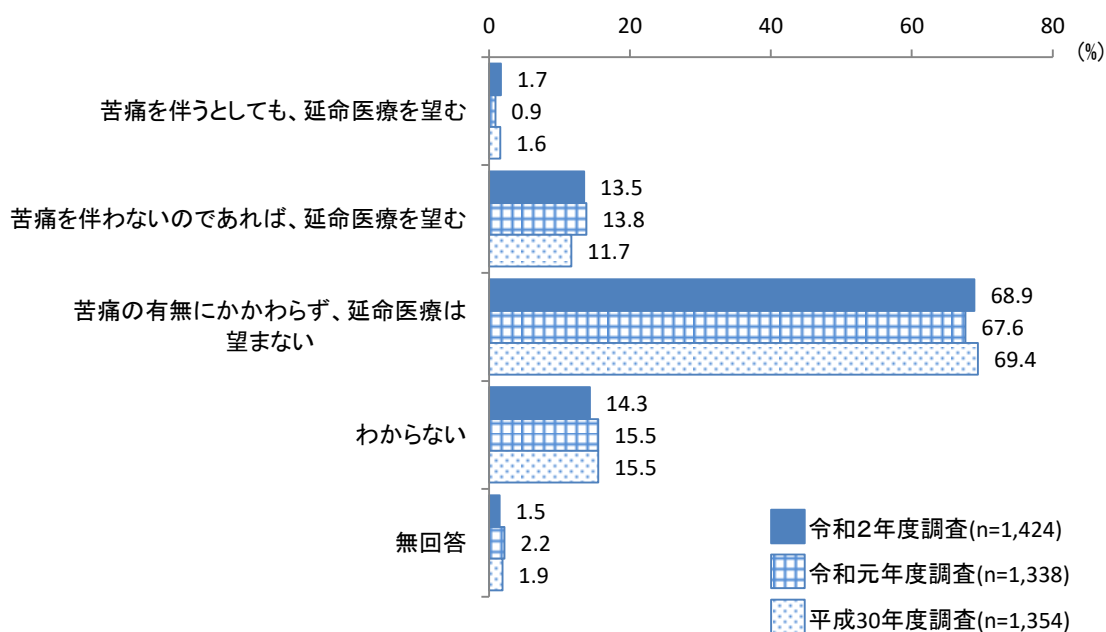
		全 体	作 成 し て い る	作 成 し て い な い	(%) 無 回 答
全体	全体	n= 1,424	3.2	94.3	2.4
性別	男性	n= 558	3.5	94.0	2.5
	女性	n= 741	2.9	94.9	2.2
年齢階層	10代	n= 34	0.0	91.3	8.7
	20代	n= 164	2.5	94.3	3.3
	30代	n= 196	0.7	99.3	0.0
	40代	n= 227	0.9	97.6	1.4
	50代	n= 196	0.9	98.2	0.9
	60代	n= 246	4.4	93.7	1.9
	70代以上	n= 348	7.1	88.1	4.9
年齢階層	(再掲) 60代以上	n= 594	6.0	90.4	3.6
世帯構成	ひとり暮らし	n= 143	4.2	91.0	4.8
	夫婦のみ	n= 321	4.8	93.0	2.2
	親・子の二世帯	n= 720	2.5	95.5	2.0
	親・子・孫の三世帯	n= 191	1.6	96.1	2.3
	その他	n= 31	8.1	85.6	6.3
同居の子ども	子どもがいる	n= 664	3.0	94.2	2.8
	子どもはいない	n= 695	3.1	95.2	1.7
居住地域① (県民局)	備前地域	n= 690	3.3	94.3	2.4
	備中地域	n= 546	3.5	94.0	2.5
	美作地域	n= 172	2.0	95.8	2.1
居住地域② (医療圏域)	県南東部	n= 690	3.3	94.3	2.4
	県南西部	n= 499	3.4	94.3	2.3
	高梁・新見	n= 47	5.1	90.1	4.8
	真庭	n= 36	2.4	97.6	0.0
	津山・英田	n= 137	1.9	95.4	2.7
居住年数	5年未満	n= 57	5.5	94.5	0.0
	5年以上10年未満	n= 45	2.4	95.6	2.0
	10年以上20年未満	n= 133	2.0	94.5	3.5
	20年以上	n= 1,178	3.3	94.3	2.4
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)	n= 118	3.9	94.6	1.5
	会社・団体などの正社員(正職員)	n= 464	1.3	95.8	2.8
	会社・団体などの役員	n= 32	5.4	94.6	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など	n= 292	2.1	97.9	0.0
	専業主婦(主夫)	n= 161	6.1	89.1	4.8
	学生	n= 60	2.2	97.8	0.0
	無職	n= 279	5.8	89.9	4.3

○リビングウィルの書面作成の有無について

全体では「作成していない」との回答が9割台半ばと高くなっている。

回答者の属性別で分析しても同様の結果となっているものの、「作成している」との回答は年齢階層別で70代以上が7.1%とやや高くなっている。

■問 25 あなたは、ご自身の死が目前に迫っており、どのような治療によっても回復する見込みがない場合に、延命医療を望みますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「苦痛を伴うとしても、延命医療を望む」(前年度差 0.8)

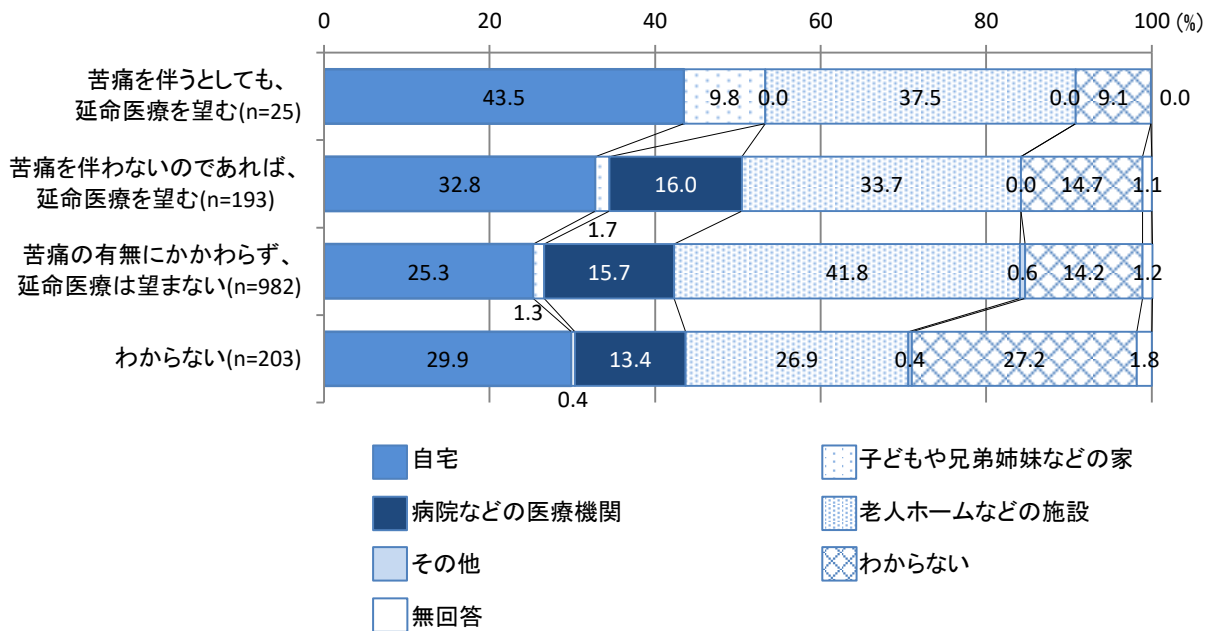
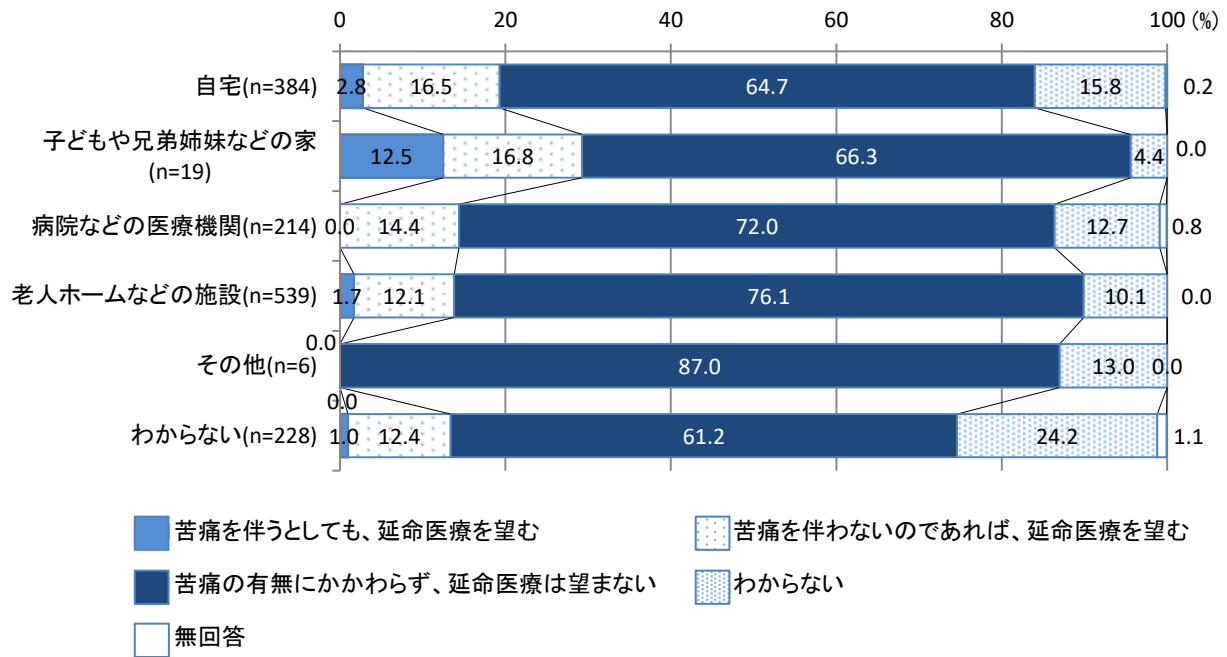
「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」(前年度差 1.3)

◆低下

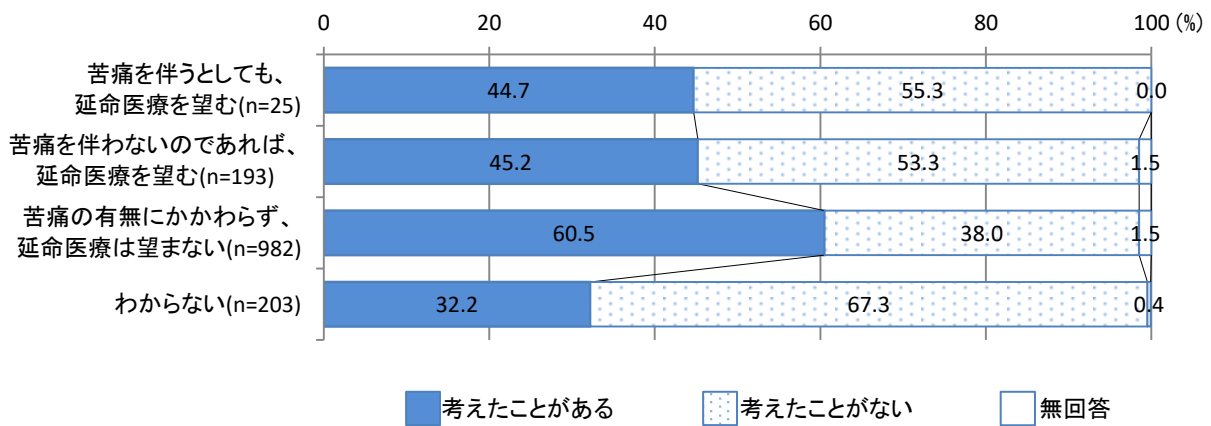
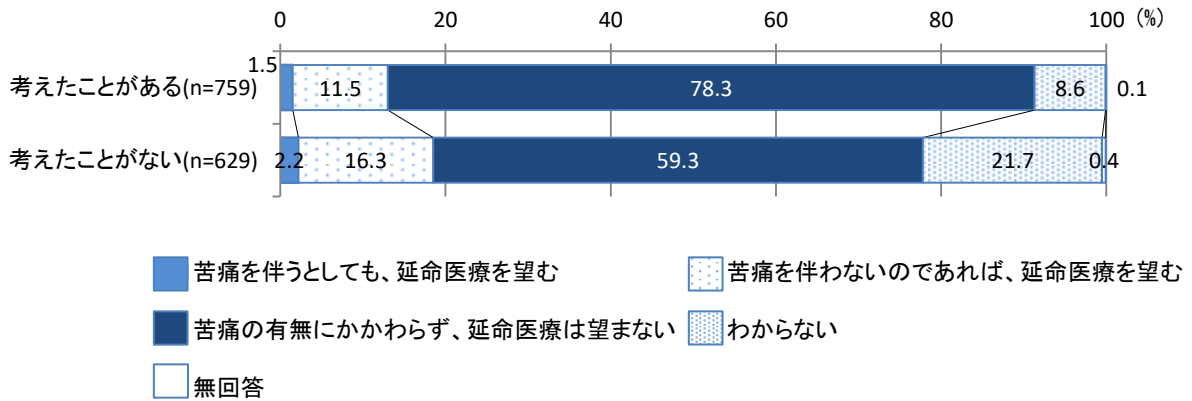
「苦痛を伴わないのであれば、延命医療を望む」(前年度差 ▲0.3)

「わからない」(前年度差 ▲1.2)

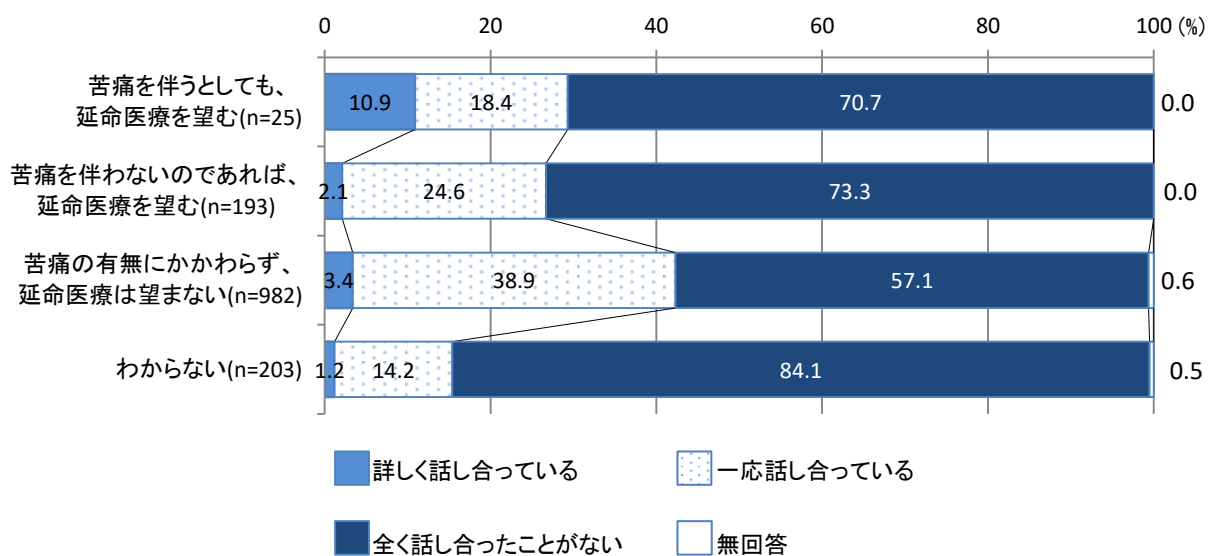
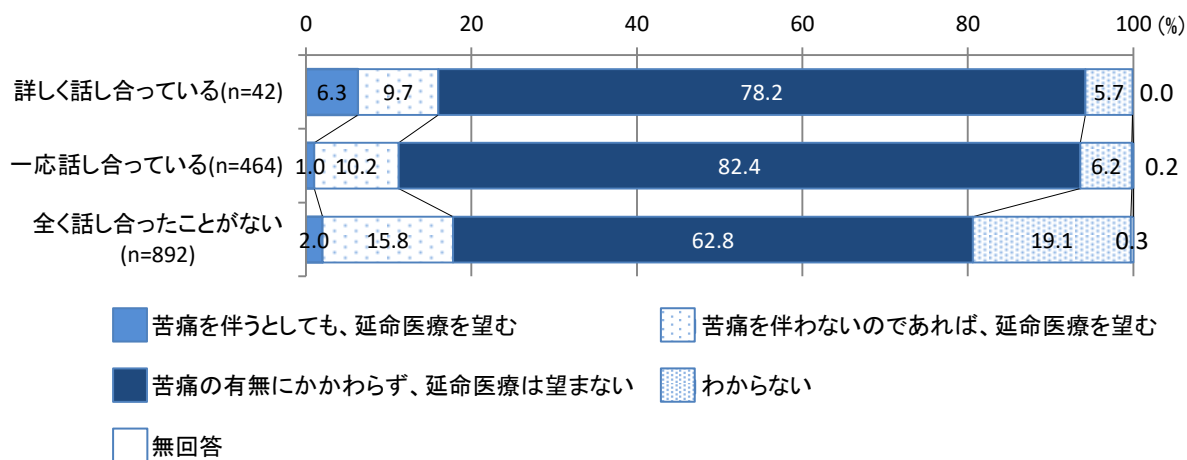
<問 20 とのクロス集計>



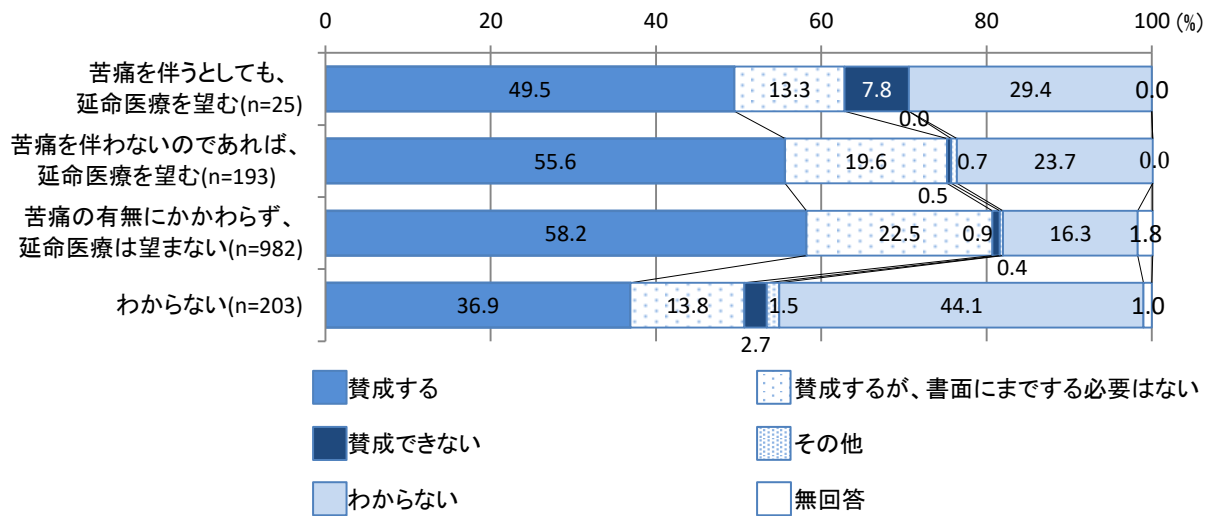
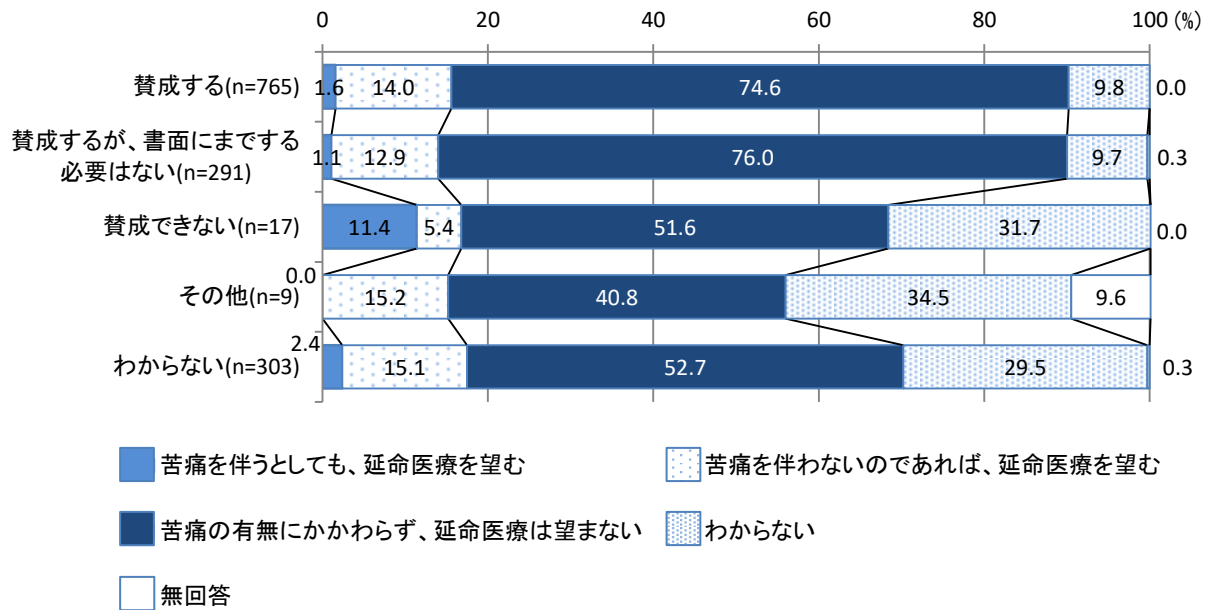
<問 21 とのクロス集計>



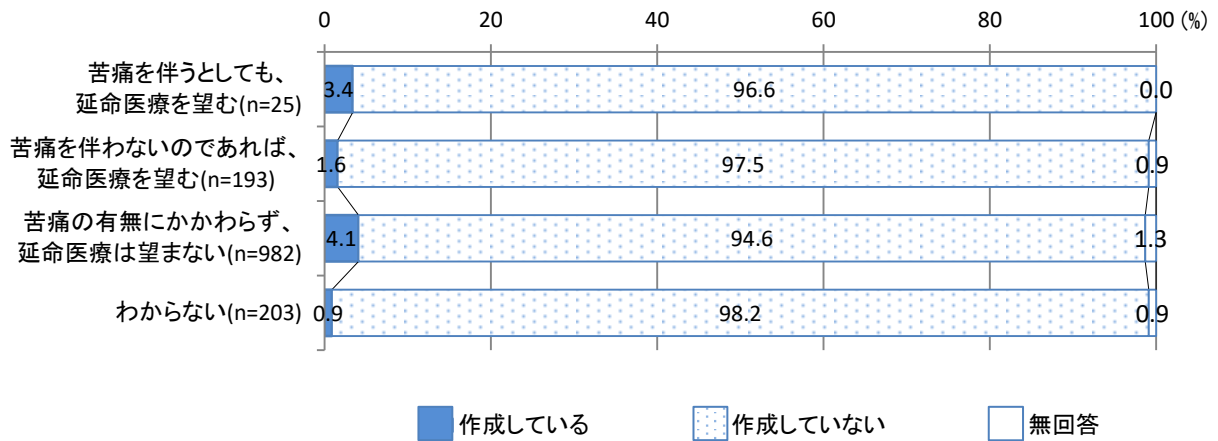
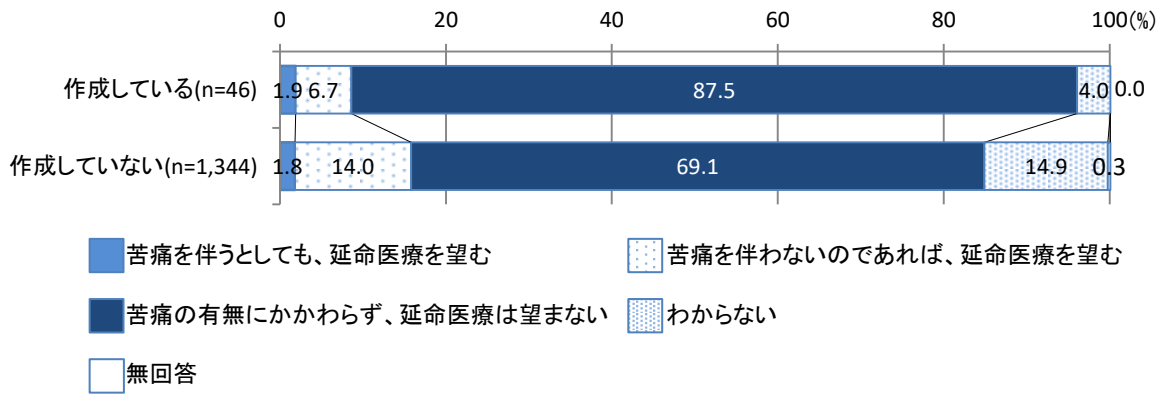
<問 22 とのクロス集計>



<問 23 とのクロス集計>



<問 24 とのクロス集計>



【余命が短い場合の延命医療の意向】

(%)

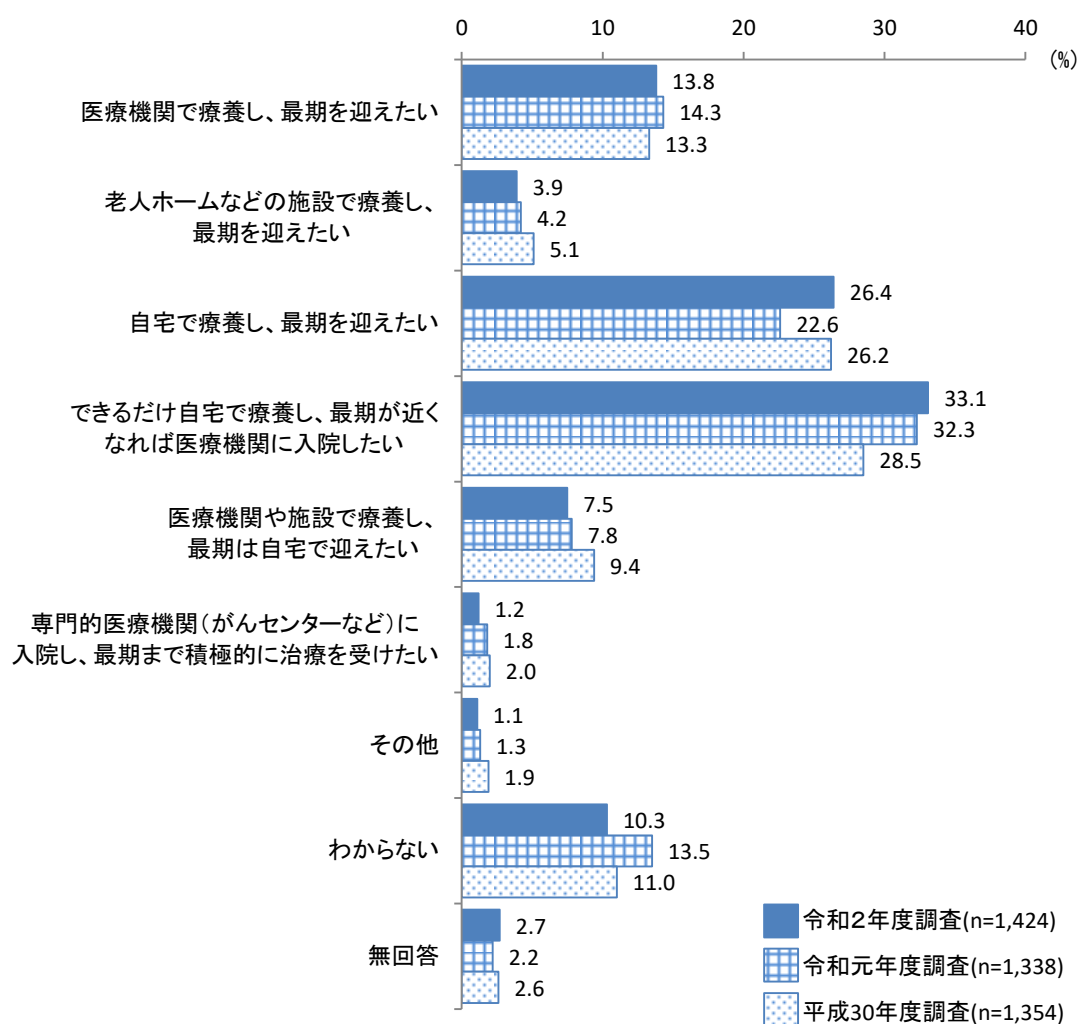
	全体	も、苦痛を伴う延命医療を望む	望む 苦痛を伴わなければ、延命医療を望む	望まない 苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,424	1.7	13.5	68.9	14.3	1.5
性別	男性 n= 558	2.6	14.1	65.4	16.0	1.9
	女性 n= 741	1.2	13.7	70.9	13.0	1.1
年齢階層	10代 n= 34	0.0	34.8	39.1	17.4	8.7
	20代 n= 164	4.1	27.0	48.4	17.2	3.3
	30代 n= 196	2.8	15.9	63.4	17.9	0.0
	40代 n= 227	2.8	16.0	60.4	19.3	1.4
	50代 n= 196	1.3	13.2	71.9	13.2	0.4
	60代 n= 246	0.7	7.8	79.3	10.7	1.5
	70代以上 n= 348	0.5	6.3	81.5	10.0	1.7
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 594	0.6	6.9	80.6	10.3	1.6
世帯構成	ひとり暮らし n= 143	0.0	9.4	75.3	13.5	1.8
	夫婦のみ n= 321	1.3	8.7	76.1	12.5	1.4
	親・子の二世帯 n= 720	2.4	15.8	64.7	15.7	1.4
	親・子・孫の三世帯 n= 191	1.3	15.3	69.0	13.1	1.4
	その他 n= 31	2.7	20.1	65.5	5.4	6.3
同居の子ども	子どもがいる n= 664	2.1	14.4	68.6	13.5	1.3
	子どもはいない n= 695	1.5	13.3	68.1	15.5	1.5
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 690	2.2	15.1	67.0	14.2	1.5
	備中地域 n= 546	1.5	12.6	69.1	15.0	1.7
	美作地域 n= 172	0.6	10.0	75.7	12.5	1.2
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 690	2.2	15.1	67.0	14.2	1.5
	県南西部 n= 499	1.7	12.9	68.3	15.6	1.4
	高梁・新見 n= 47	0.0	9.5	77.7	8.0	4.8
	真庭 n= 36	0.0	3.8	86.2	10.0	0.0
	津山・英田 n= 137	0.8	11.6	73.0	13.2	1.5
居住年数	5年未満 n= 57	2.4	19.3	62.4	16.0	0.0
	5年以上10年未満 n= 45	0.0	30.0	57.5	10.5	2.0
	10年以上20年未満 n= 133	0.0	19.5	63.6	14.7	2.2
	20年以上 n= 1,178	2.0	11.9	70.4	14.2	1.4
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 118	1.1	8.3	76.8	13.0	0.7
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 464	2.4	17.4	60.5	17.1	2.6
	会社・団体などの役員 n= 32	0.0	9.7	82.0	8.3	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 292	2.0	13.7	72.0	12.2	0.0
	専業主婦(主夫) n= 161	0.7	9.3	75.3	13.6	1.1
	学生 n= 60	4.5	30.6	46.2	18.7	0.0
	無職 n= 279	0.9	8.1	76.7	11.8	2.5

○余命が短い場合の延命医療の意向について

全体では「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」との回答が約7割と最も高くなっている。

年齢階層別にみると、「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」との回答は60代以上で8割前後と高く、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。職業別にみると、「苦痛を伴わないのであれば、延命医療を望む」との回答が学生で約3割と高くなっている。

■問 26 あなたの余命が残り少ない（6ヶ月より短い期間）と告げられた場合、どこで療養し、最期を迎えたいですか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「自宅で療養し、最期を迎えたい」(前年度差 3.8)

「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」(前年度差 0.8)

◆低下

「医療機関で療養し、最期を迎えたい」(前年度差 ▲0.5)

「老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい」(前年度差 ▲0.3)

「医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい」(前年度差 ▲0.3)

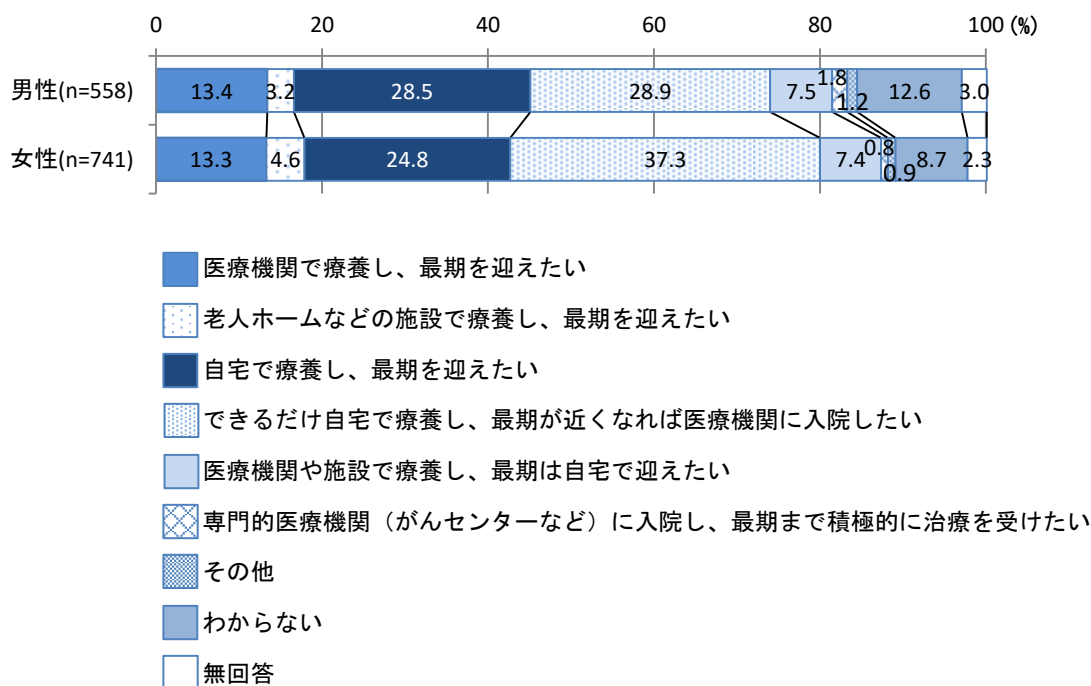
「専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい」

(前年度差 ▲0.6)

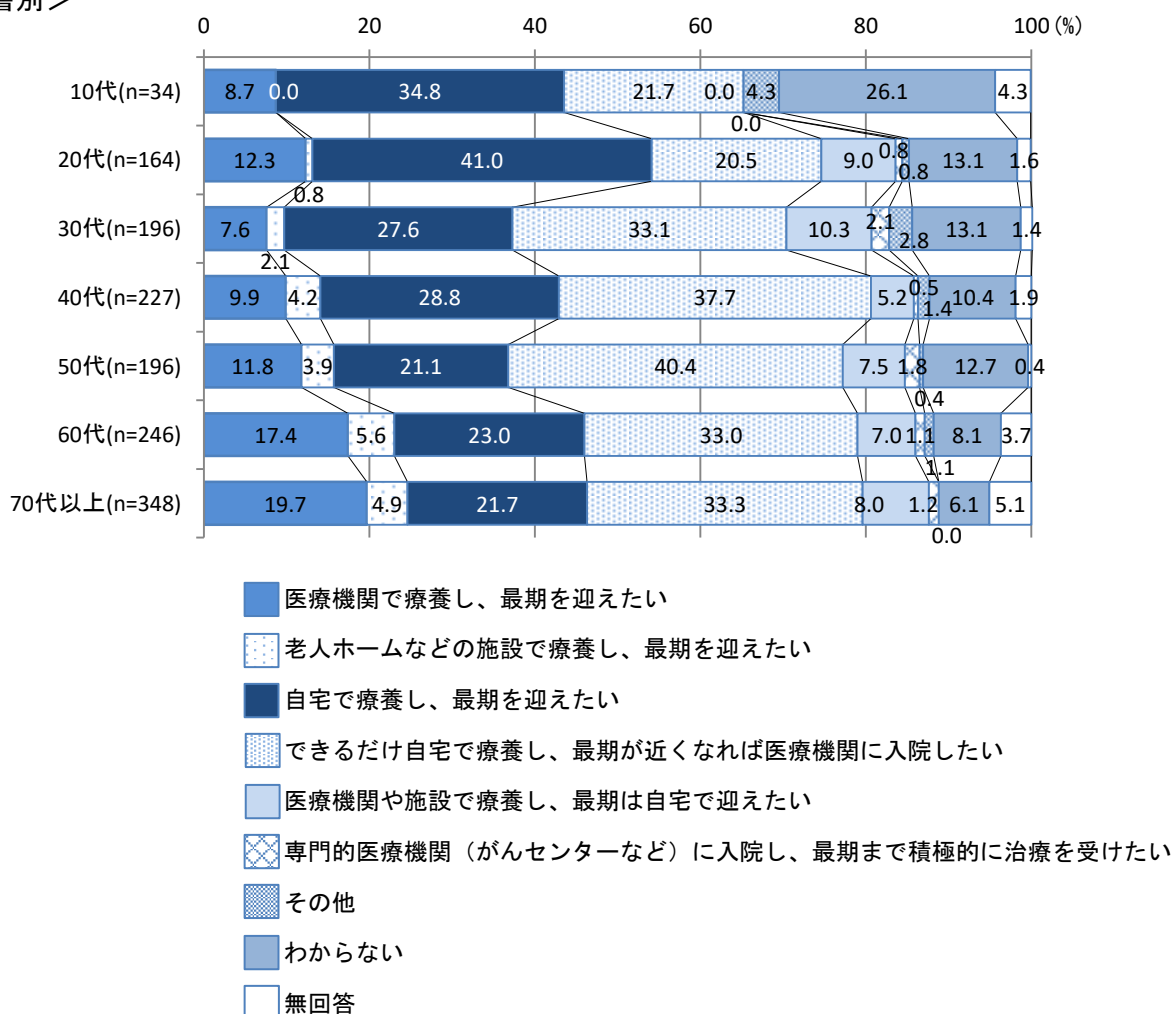
「その他」(前年度差 ▲0.2)

「わからない」(前年度差 ▲3.2)

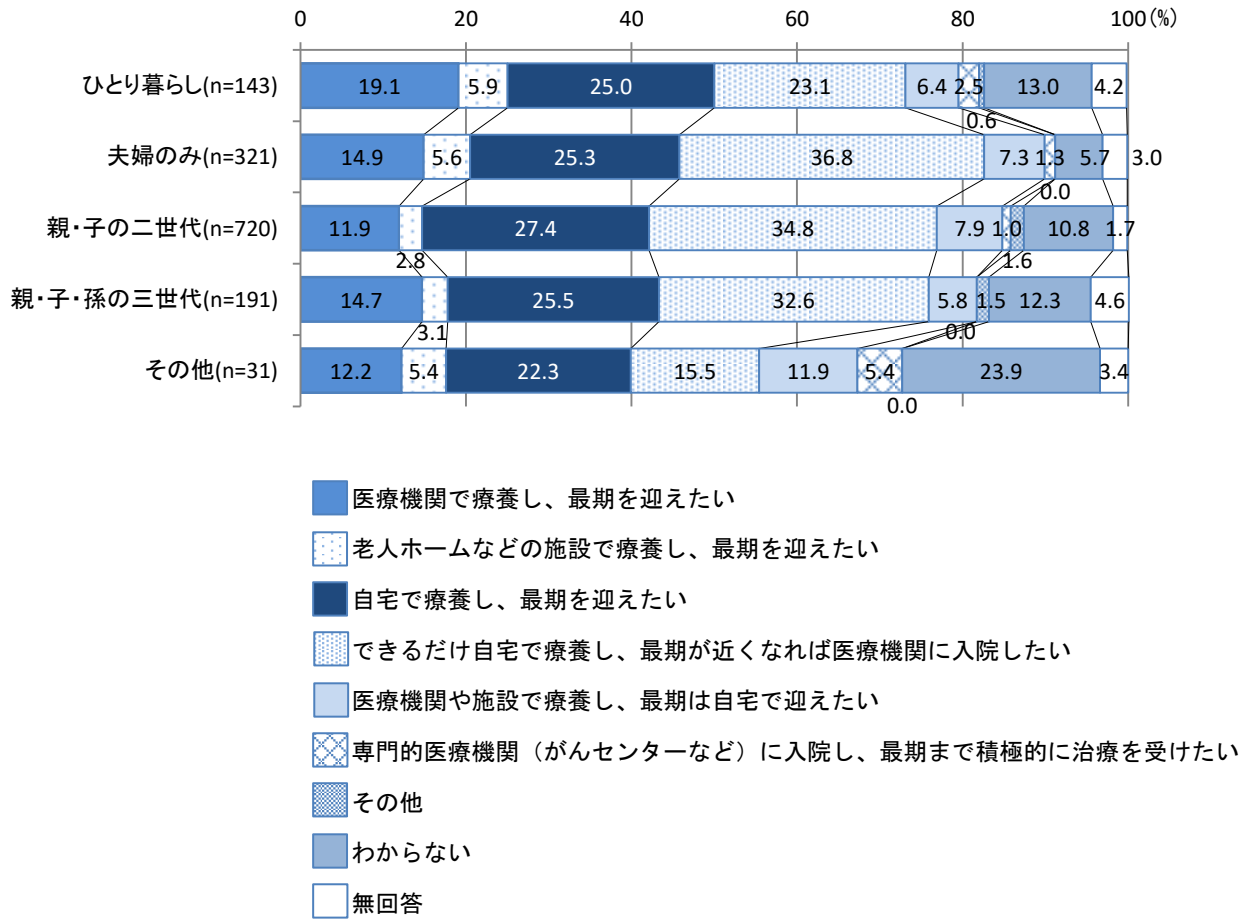
<性別>



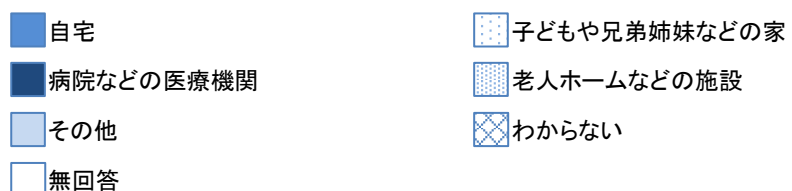
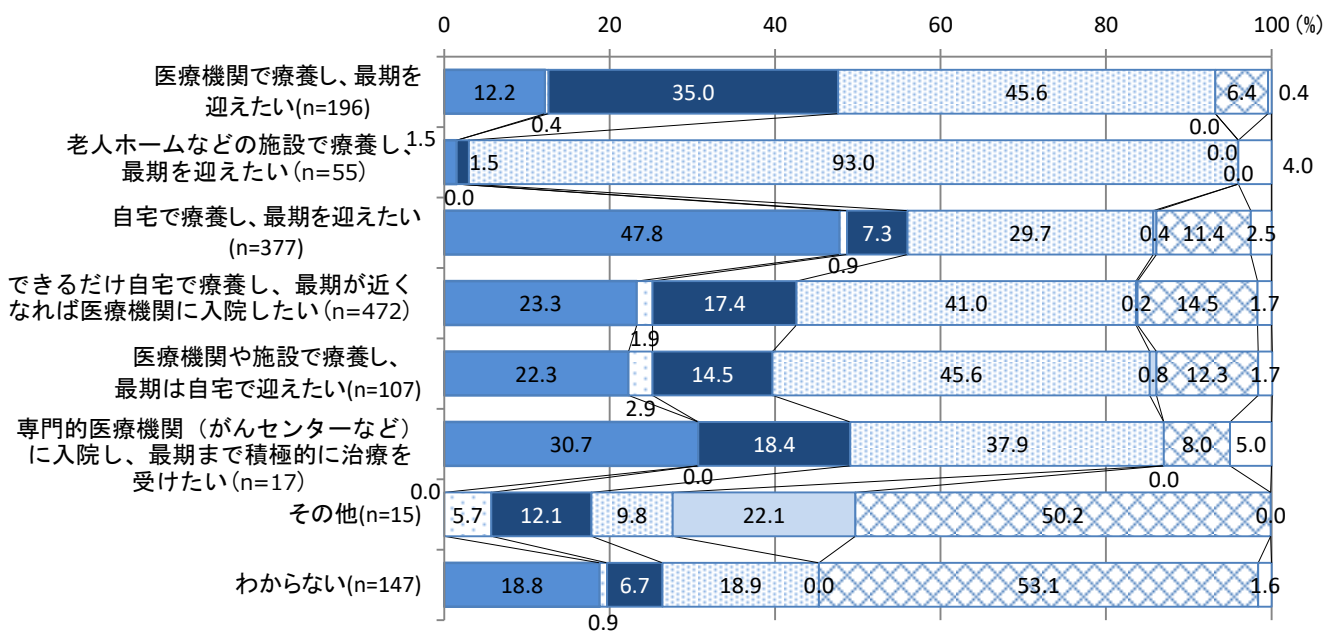
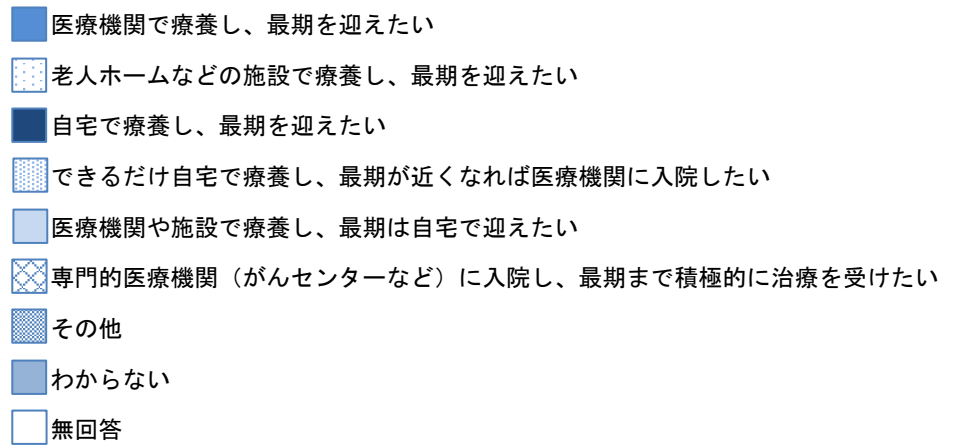
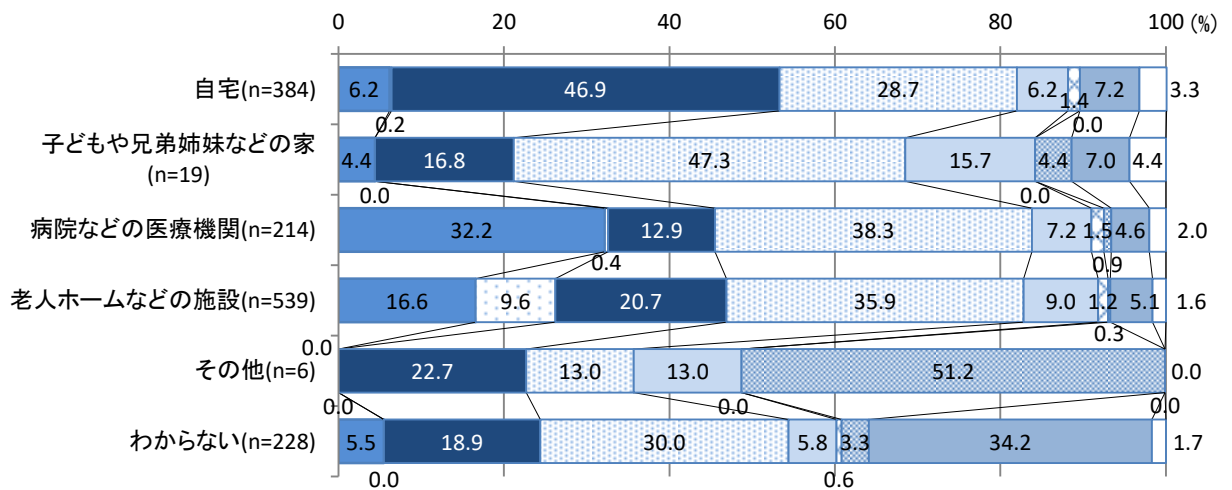
<年齢階層別>



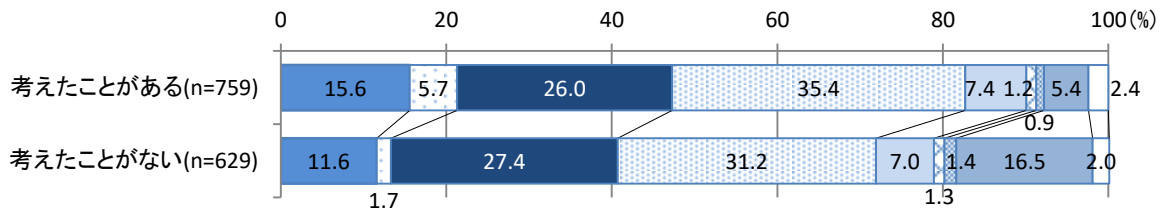
<世帯構成別>



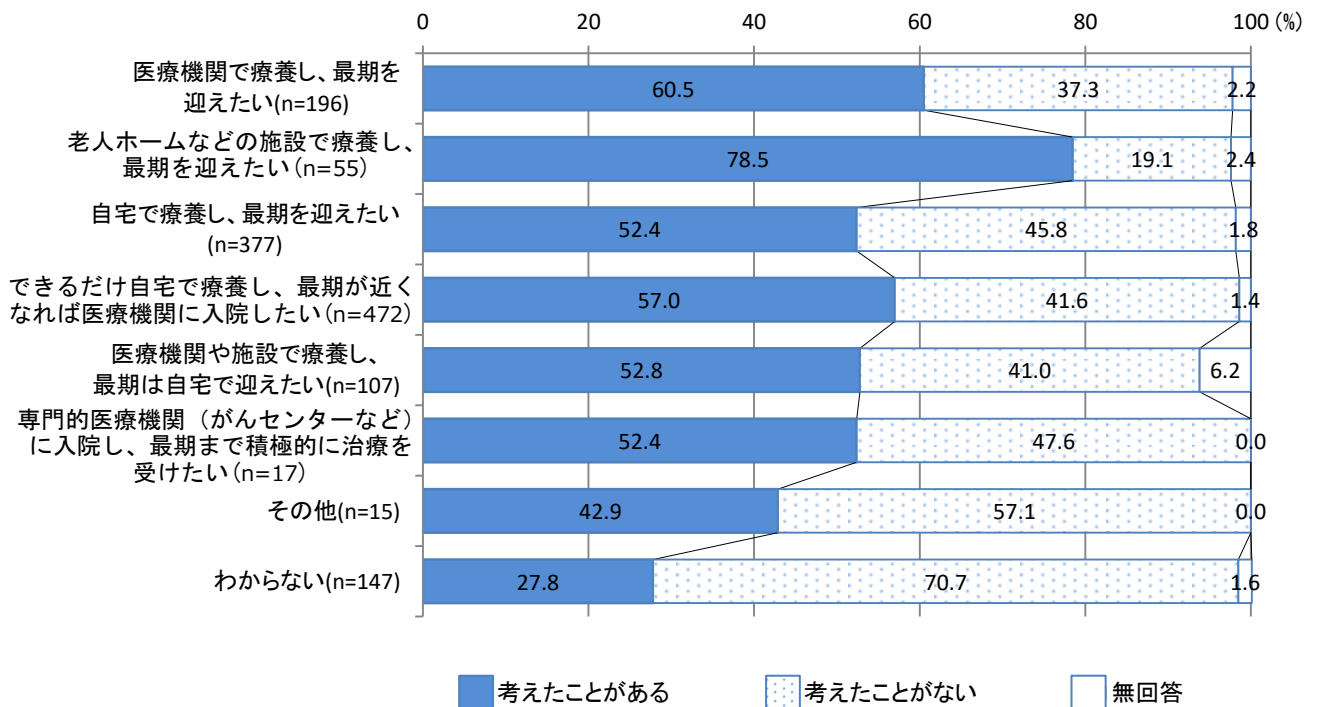
<問 20 とのクロス集計>



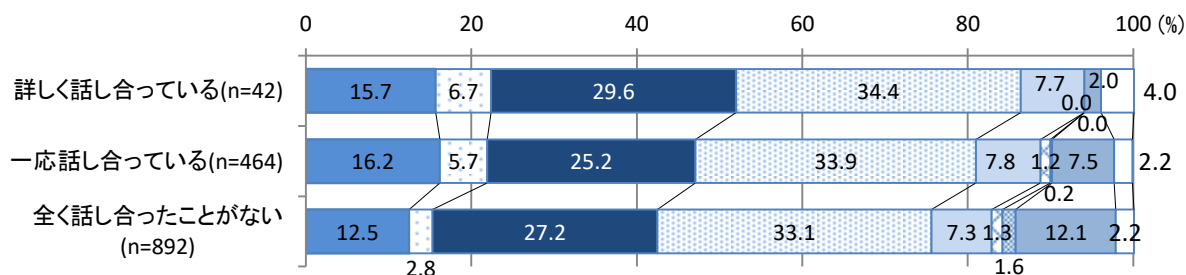
<問 21 とのクロス集計>



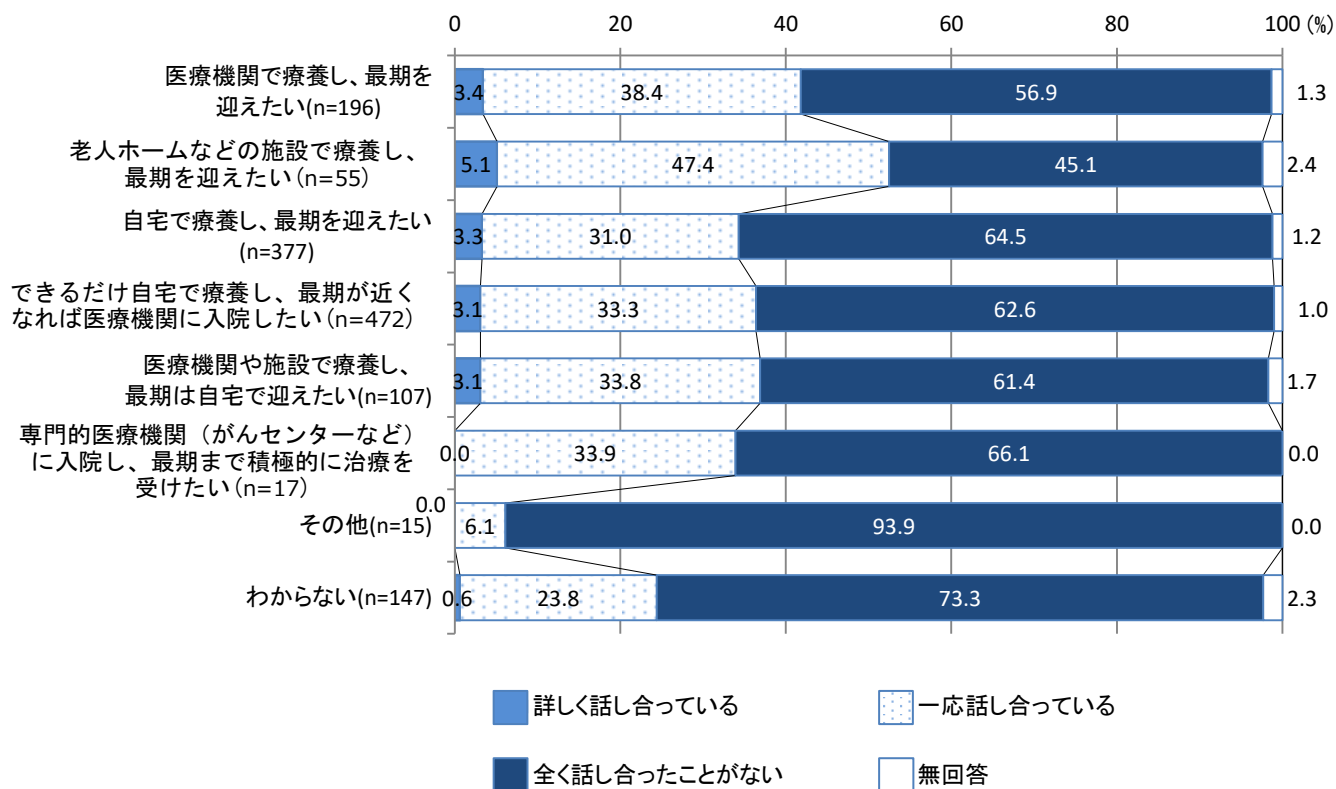
- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関（がんセンターなど）に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答



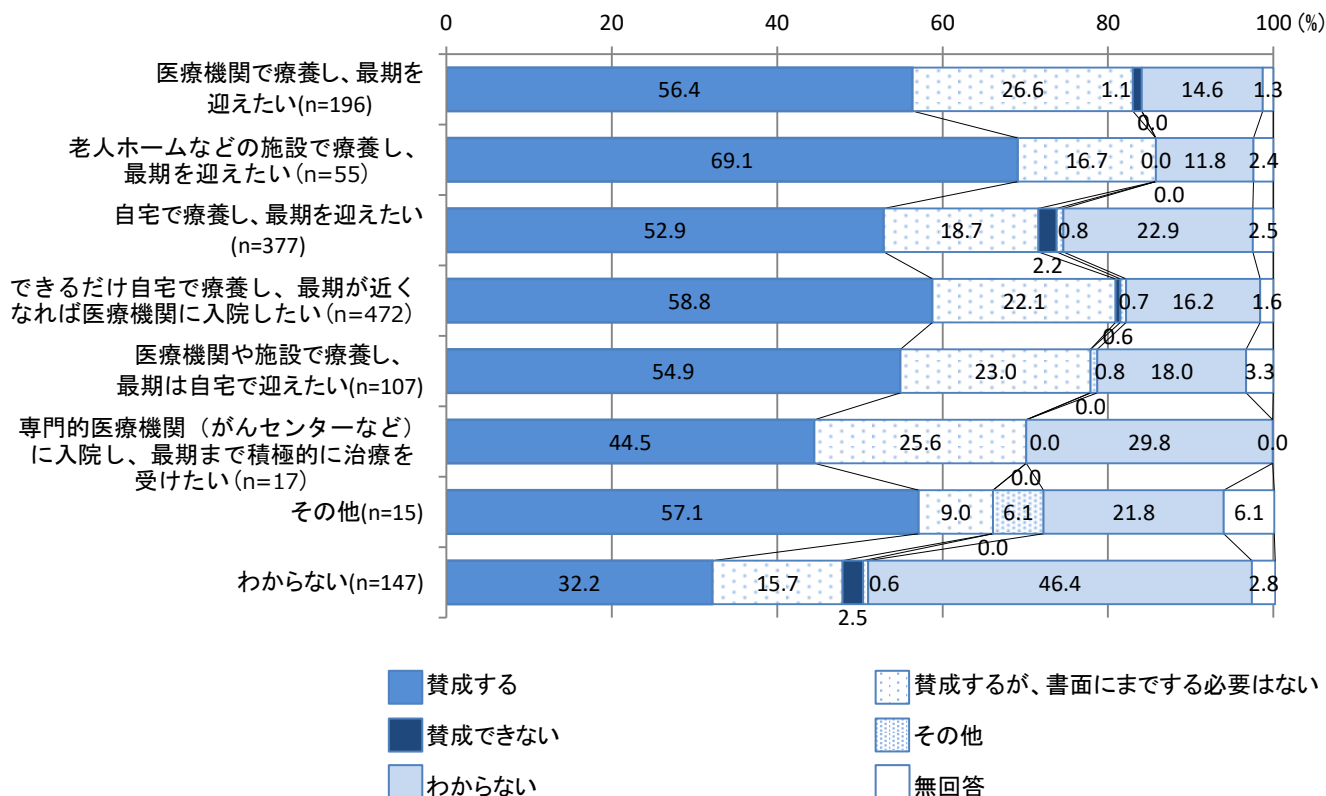
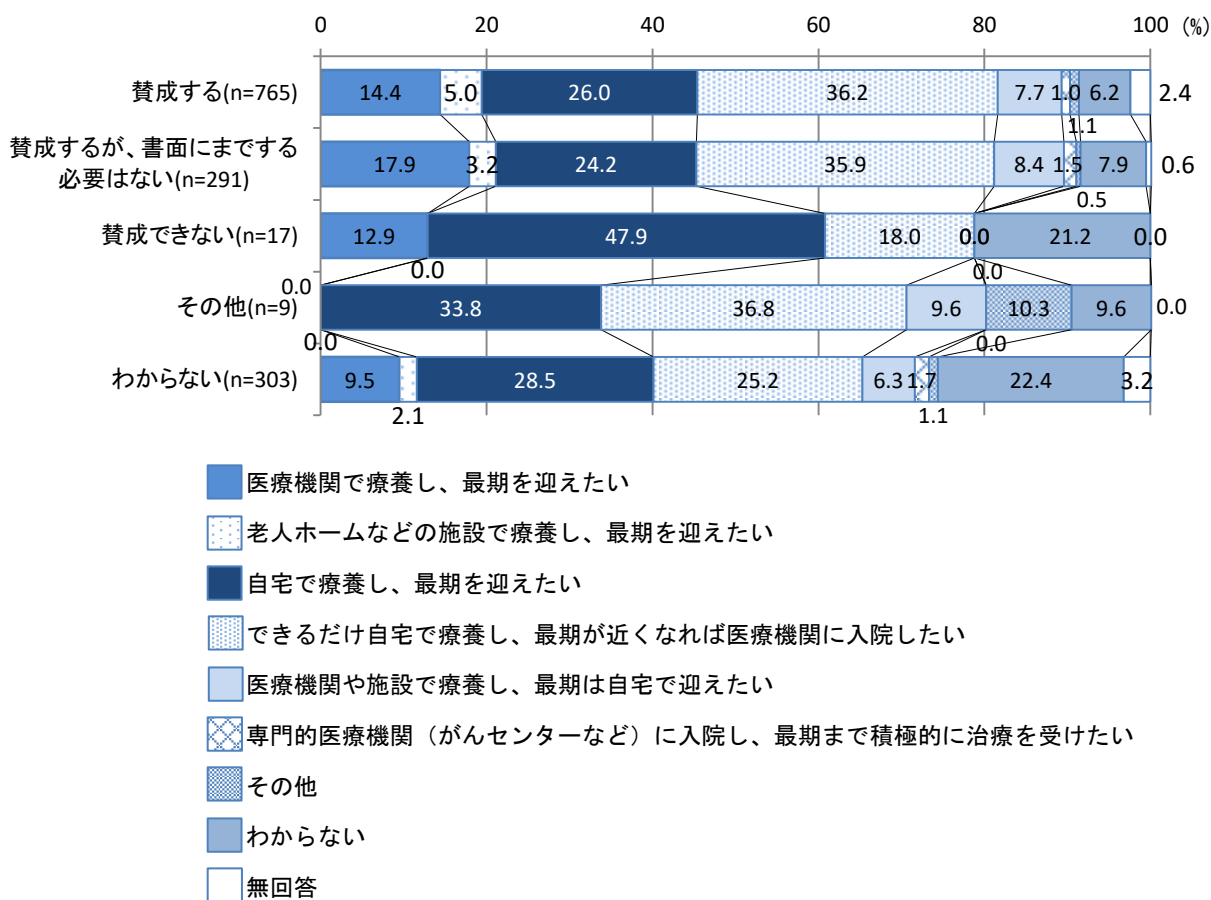
<問 22 とのクロス集計>



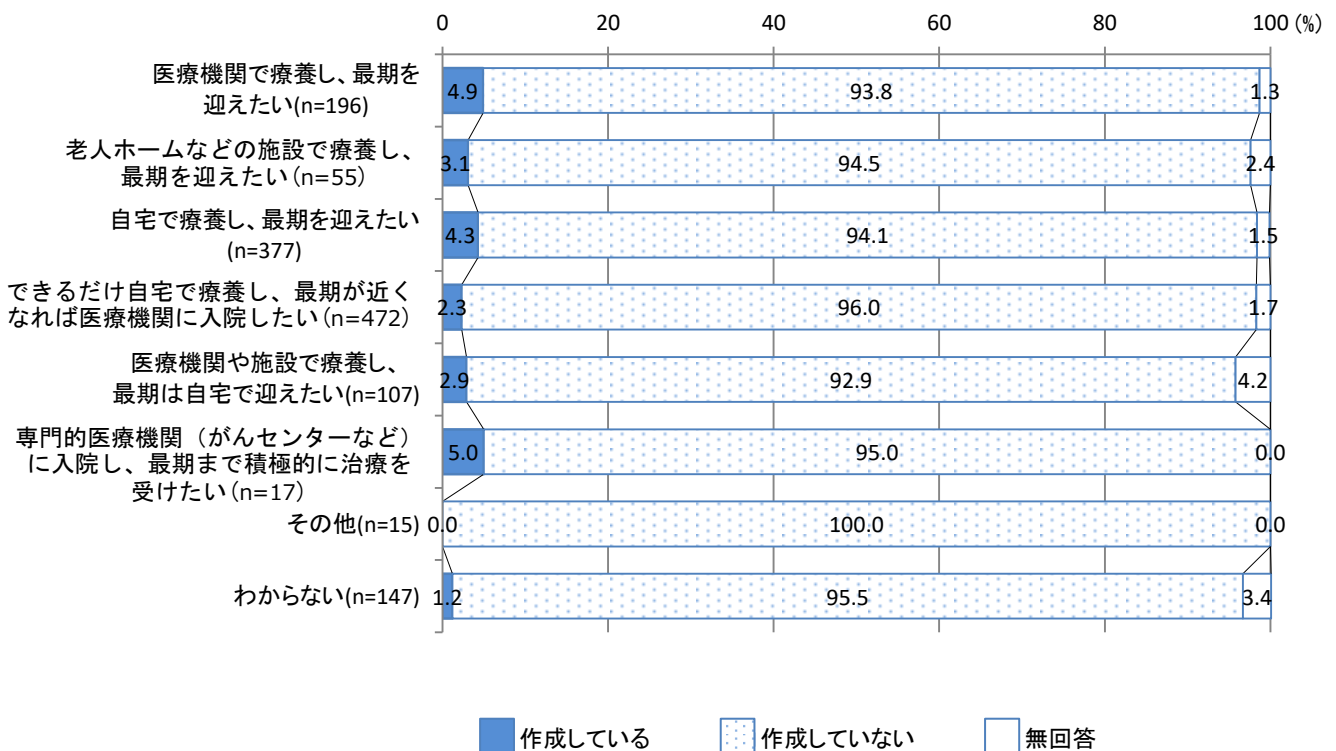
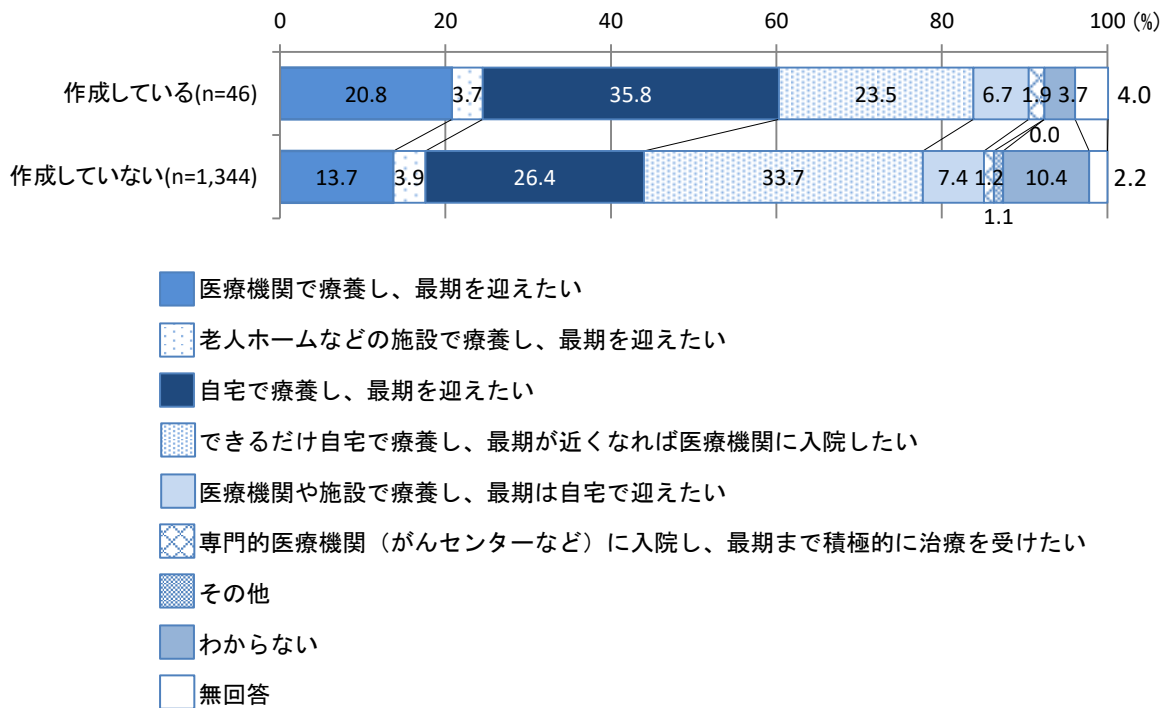
- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関（がんセンターなど）に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答



<問 23 とのクロス集計>



<問 24 とのクロス集計>



【余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所】

(96)

		全体	医療機関で療養し、最期を迎えたい	老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい	自宅で療養し、最期を迎えたい	できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい	医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい	専門的医療機関（がんセンターなど）に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい	その他	わからない	無回答	
全体	全体	n= 1,424	13.8	3.9	26.4	33.1	7.5	1.2	1.1	10.3	2.7	
性別	男性	n= 558	13.4	3.2	28.5	28.9	7.5	1.8	1.2	12.6	3.0	
	女性	n= 741	13.3	4.6	24.8	37.3	7.4	0.8	0.9	8.7	2.3	
年齢階層	10代	n= 34	8.7	0.0	34.8	21.7	0.0	0.0	4.3	26.1	4.3	
	20代	n= 164	12.3	0.8	41.0	20.5	9.0	0.8	0.8	13.1	1.6	
	30代	n= 196	7.6	2.1	27.6	33.1	10.3	2.1	2.8	13.1	1.4	
	40代	n= 227	9.9	4.2	28.8	37.7	5.2	0.5	1.4	10.4	1.9	
	50代	n= 196	11.8	3.9	21.1	40.4	7.5	1.8	0.4	12.7	0.4	
	60代	n= 246	17.4	5.6	23.0	33.0	7.0	1.1	1.1	8.1	3.7	
	70代以上	n= 348	19.7	4.9	21.7	33.3	8.0	1.2	0.0	6.1	5.1	
年齢階層	(再掲)	60代以上	n= 594	18.8	5.2	22.2	33.2	7.6	1.2	0.5	6.9	4.5
世帯構成	ひとり暮らし	n= 143	19.1	5.9	25.0	23.1	6.4	2.5	0.6	13.0	4.2	
	夫婦のみ	n= 321	14.9	5.6	25.3	36.8	7.3	1.3	0.0	5.7	3.0	
	親・子の二世帯	n= 720	11.9	2.8	27.4	34.8	7.9	1.0	1.6	10.8	1.7	
	親・子・孫の三世帯	n= 191	14.7	3.1	25.5	32.6	5.8	0.0	1.5	12.3	4.6	
	その他	n= 31	12.2	5.4	22.3	15.5	11.9	5.4	0.0	23.9	3.4	
同居の子ども	子どもがいる	n= 664	12.1	2.9	25.6	38.9	6.8	1.1	1.0	8.3	3.3	
	子どもはいない	n= 695	14.6	4.8	27.8	28.0	8.2	1.4	1.2	12.2	1.9	
居住地域① (県民局)	備前地域	n= 690	14.9	4.5	27.1	32.9	6.6	1.0	0.6	9.9	2.6	
	備中地域	n= 546	12.9	3.2	26.0	33.7	8.4	1.6	1.8	9.9	2.5	
	美作地域	n= 172	12.6	3.4	24.2	32.4	9.1	0.6	0.6	13.0	4.2	
居住地域② (医療圏域)	県南東部	n= 690	14.9	4.5	27.1	32.9	6.6	1.0	0.6	9.9	2.6	
	県南西部	n= 499	13.1	3.5	26.0	33.5	8.0	1.8	1.7	9.8	2.8	
	高梁・新見	n= 47	11.4	0.0	26.5	36.1	12.8	0.0	2.9	10.3	0.0	
	真庭	n= 36	7.4	2.6	34.8	27.7	6.3	0.0	0.0	13.5	7.8	
	津山・英田	n= 137	14.0	3.6	21.5	33.6	9.8	0.8	0.8	12.8	3.2	
居住年数	5年未満	n= 57	10.5	5.4	30.8	23.5	18.1	3.9	0.0	7.9	0.0	
	5年以上10年未満	n= 45	12.2	2.4	24.3	46.8	7.0	1.9	0.0	5.4	0.0	
	10年以上20年未満	n= 133	8.6	2.9	27.4	35.3	7.1	0.0	1.9	15.6	1.1	
	20年以上	n= 1,178	14.6	3.9	26.1	33.0	7.1	1.1	1.1	10.0	3.1	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)	n= 118	15.9	2.3	21.4	38.4	4.4	3.7	1.7	6.8	5.3	
	会社・団体などの正社員(正職員)	n= 464	10.7	2.3	28.1	34.9	8.4	1.0	1.0	11.4	2.2	
	会社・団体などの役員	n= 32	16.6	8.3	14.3	40.8	14.4	0.0	0.0	5.6	0.0	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など	n= 292	12.7	4.7	27.9	32.5	8.0	0.7	1.5	11.4	0.6	
	専業主婦(主夫)	n= 161	13.1	3.8	23.3	39.4	7.5	1.1	0.0	9.6	2.2	
	学生	n= 60	6.9	0.0	39.5	25.5	4.5	0.0	2.5	19.0	2.2	
	無職	n= 279	20.9	6.3	23.9	26.8	7.1	1.5	0.8	7.0	5.6	

○余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所について

全体では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が最も高く、次いで「自宅で療養し、最期を迎えたい」、「医療機関で療養し、最期を迎えたい」などの順となっている。

年齢階層別にみると、10～20代では「自宅で療養し、最期を迎えたい」との回答が高く、30代以上では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が高くなっている。

居住地域②(医療圏域)別にみると真庭地域、居住年数別にみると5年未満、職業別でみると学生で「自宅で療養し、最期を迎えたい」との回答が「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答を上回っている。また、「わからない」との回答は年齢階層別で10代が2割台半ば、職業別で学生が約2割と高くなっている。